

<http://archives.nhk.or.jp/chronicle/B10002200090812010030154/>

ハイビジョン特集

“ 認罪 ” ～ 中国 撫順戦犯管理所の 6 年 ～

放送日2008年11月30日

チャンネルデジタルBS Hi

該当データがありません。

1950年7月ソ連から中国に日本人BC級戦犯969名が戦犯管理所に移管された。元日本兵たちは死刑の恐怖の中で、思想改造を求められる。死刑はなぜ回避されたのか。

1950年7月、ソ連から中国に日本人戦犯容疑者969人が移管された。6年後、彼らは自らの行為を告白し、裁判に臨む。しかし多くの者は起訴免除となり、起訴された者にも寛大な判決が下された。撫順戦犯管理所で元日本兵たちは罪を認める（認罪）ことを求められ、死刑の恐怖の中で戦争中の行為を見つめ直した。一方、中国人職員は、恨みを押し殺して日本人の思想改造に努めた。管理所で何が起き、日本人は何を思ったのか。

世界同時食糧危機（1）

アメリカ頼みの“食”が破綻する

2008年10月17日（金） 午後7時30分～8時43分

総合テレビ

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/081017.html>

今年、世界各地で同時多発的に食糧危機が起きている。危機は貧困層だけでなく中間層まで広がっている。日本でも食品の値上げが相次ぎ、えさ代の高騰で畜産業などには深刻な影響が出ている。なぜこんなことになったのか。その実態と原因を見ていくと、戦後世界に広がった「アメリカ中心の食糧供給システム」が破綻の危機にあることに行き当たる。

戦後アメリカ中西部の穀倉地帯の農家たちは余剰穀物の輸出を強力に押し進めてきた。そうしたアメリカの国益の先兵として、穀物メジャーは政府に貿易障壁の撤廃を働きかける一方、日本をはじめ世界各地の国々に対し、安価なアメリカ産穀物を大量に消費する食生活や農業の普及を働きかけた。

一方各国では食の「アメリカ依存」を進めた結果、食糧自給率が低下。そのつけが今、一気に押し寄せているのだ。

食糧自給率を40パーセントにまで下げた日本、肉食の進行などで穀物輸入国に転落しつつある中国、世界でも食糧危機が最も深刻な中米エルサルバドルなど、食糧危機に直面している各国の現状、そして穀物メジャーやアメリカの農家の側の思惑などを多角的に取材。危機の本質を明らかにしていく。

世界同時食糧危機（２）食糧争奪戦

～ 輸入大国・日本の苦闘～

2008年10月19日（日） 午後9時～9時59分

総合テレビ

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/081019.html>

各国で必要な食糧を確保しようという動きが加速している。安定した価格で輸入できる国外産地の確保、そして遺伝子組み換え作物（GMO）の導入による生産力の拡充である。

しかし、いずれも壁は厚い。大手味噌メーカーのハナマルキは、アメリカで遺伝子組み換え（GM）大豆の作付けが急増する中、非GM大豆を求めて南米パラグアイなどで大豆を買い付けようとしているが、日本人が好む味の大豆はすぐには確保できず、中国東北部への進出を試みている。多くの日本企業が有望産地として注目するウクライナも、食糧確保を狙うリビア、サウジなどの国々が殺到している。また、穀物メジャーも巨額の資金を投じて支配の強化を図っている。

一方、遺伝子組み換え作物にも新たな課題が見え始めた。いち早くGMトウモロコシの導入を推進した南アフリカでは、農薬などが高づく上に、気候に合わず収量が落ちてしまうという事態が多発、伝統農法に回帰する動きも出始めている。

コメを除く穀物のほとんどを輸入に頼り、遺伝子組み換え作物を拒否し続けながら、年間900万トンに上る食糧を廃棄している日本。取るべき道は何かを考える。

NHKスペシャル

日本とアメリカ 第1回 深まる日米同盟

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/080127.html>

2008年1月27日(日) 午後9時00分～9時59分 総合テレビ

日本がアメリカと国交を開いておよそ150年。

いま日米で何が起きているのか。大きく変質する日米関係を、様々な角度から見つめるシリーズ。第1回は、両国の軍事協力いわゆる「日米同盟」がテーマ。

「基地を提供する」代わりに「核の傘で守ってもらう」という片務的な関係が続いてきた戦後の日米同盟のあり方がいま大きく揺れている。北朝鮮のミサイルの脅威に対抗しようと、急速に配備が進むミサイル防衛。その現場では、日米の情報共有、技術・産業面での一体化が究極まで進んだ結果、集団的自衛権を行使しないという原則や、武器輸出三原則を乗り越える動きさえ出てきている。

911テロ以降、日米の軍事協力は、グローバルな範囲にも拡大してきた。「湾岸戦争の教訓」から日本政府が積極的に始めた海上自衛隊のインド洋での給油活動。政治状況から中断したが、実はその間も水面下で同盟強化の動きが進んでいた。

番組では、ミサイル防衛とインド洋給油活動を巡る日米の動きを取材、日米同盟にどんな変化が起きているのか、その実態を描く。

<http://www.nhk.or.jp/gendai/>

2007年8月23日(木)放送

遺骨はなぜ還らなかったのか(仮題)

東京・目黒区の祐天寺に保管されている朝鮮半島出身の軍人・軍属の千体以上の遺骨。戦後62年の時を経て、韓国の遺族に返還するため、日韓の協議が続いている。実はこの遺骨は今から30年以上前に、一括で返還されるチャンスがあった。今年4月に韓国で開示された外交文書によると1975年、日本政府は韓国と北朝鮮に対し祐天寺の遺骨返還を提案。しかし韓国側は日朝の接近を警戒し拒否した事が記されていたのだ。番組では日本に残された朝鮮半島出身者の遺骨返還を巡る"知られざる日韓交渉史"を描くと同時に、民間人の遺骨を返還しようと動く日本の仏教界の試みを伝える。(NO.2451)

スタジオゲスト：小此木 政夫さん(慶應義塾大学教授)

なぜ返されなかったのか～遺骨をめぐる日韓外交史～

東京・目黒区の祐天寺に保管されている朝鮮半島出身の軍人・軍属の千体以上の遺骨。戦後62年の時を経て、韓国の遺族に返還するため、日韓の協議が続いている。実はこの遺骨は今から30年以上前に、一括で返還されるチャンスがあった。今年4月に韓国で開示された外交文書によると1975年、日本政府は韓国と北朝鮮に対し祐天寺の遺骨返還を提案。しかし韓国側は日朝の接近を警戒し拒否した事が記されていたのだ。番組では日本に残された朝鮮半島出身者の遺骨返還を巡る"知られざる日韓交渉史"を描くと同時に、民間人の遺骨を返還しようと動く日本の仏教界の試みを伝える。(NO.2454)

スタジオゲスト：小此木 政夫さん(慶應義塾大学教授)

<http://www.nhk.or.jp/wdoc/yotei/index.html>

<カストロ 人生と革命を語る>

第1回 革命家誕生（再）

8月27日 月曜深夜[火曜午前] 0:10~1:00

革命運動の指導者となって50年目を迎えた2003年1月、キューバの国家元首であるカストロ議長は、西側のテレビカメラの前で、自らの人生と政治を振り返る6時間以上に及ぶ長時間インタビューに初めて応じた。5回にわたって、貴重なインタビューをほぼ丸ごとお伝えするが、1回目は、大地主の息子として生まれ何ひとつ不自由なく成長し、政治より登山に熱中していた青年がなぜ革命に傾倒していったのか、カストロの少年、青年時代を語る。

<カストロ 人生と革命を語る>

第2回 ゲバラの素顔（再）

8月28日 火曜深夜[水曜午前] 0:10~1:00

アルゼンチン生まれの革命家で、今も中南米でカリスマ的な人気を誇るチェ・ゲバラ。

キューバ革命の優れた司令官であり、新政権の経済大臣であり、また海外でのゲリラ戦闘に散った理想主義者でもあった。カストロにとっては盟友ともいえるゲバラだが、実際には摩擦や対立もあった事を告白する。カストロ自らが語る人生と革命、2回目は、カストロしか知り得なかったゲバラの素顔と謎に包まれた死の真相を明らかにする。

<カストロ 人生と革命を語る>

第3回 平等で公正な社会をめざして（再）

8月29日 水曜深夜[木曜午前] 0:10~1:00

現在病氣療養中が伝えられるキューバのカストロ議長。まだ全身にエネルギーがみなぎっている頃の姿と肉声を伝える貴重なインタビュー記録の3回目は、革命後のキューバにおける人権侵害について。男性同性愛者やキリスト教聖職者に対して迫害があったのではないかという疑惑の追及を、カストロは持ち前の話術で、巧みにかわしていく。

<カストロ 人生と革命を語る>

第4回 反体制派弾圧の真相（再）

8月30日 木曜深夜[金曜午前] 0:10~1:00

キューバでは反体制の罪で、約200人が政治犯として収容されていると言われる。そ

れに対する国際的な非難が高まっていることについてカストロは、「アメリカが自分のゲリラ戦術を真似て、キューバ国内の反体制派をゲリラに仕立てているのだからやむを得ない措置だ」と切り返す。カストロ・インタビューの4回目は、アメリカへの流出が止まらない難民についてなど、キューバの暗部に迫る。

<カストロ 人生と革命を語る>

最終回 対米関係とキューバの将来(再)

8月31日 金曜深夜[土曜午前] 0:10~1:00

カストロ・インタビュー最終回は、1961年にキューバに社会主義政権が生まれてから国交断絶中のアメリカとの関係について。キューバへの経済制裁は国連加盟国の9割が反対し、アメリカは国際社会の支持を得ていないと非難する。キューバ国民は、今も革命を支持しているし、中南米では連帯した民衆がアメリカに勝利するであろうと、将来の見通しを語る。

<http://www.tv-asahi.co.jp/telementary/>

白のプロパガンダ～米軍統治下の沖縄宣撫工作を追う～2007年7月16日放送～

白のプロパガンダとは？ 日本復帰前、沖縄に「アメリカ陸軍第7心理作戦部隊」という部隊があった。部隊は放送や雑誌を使って作戦を展開。対象はアジアの共産圏の国々と沖縄住民。沖縄では、相次ぐアメリカ軍の事件や事故で、住民の反基地感情が高まり、部隊はそれを鎮めるという役割を担っていた。その方法には直接的に批判・中傷をしない「白のプロパガンダ」という心理作戦がとられた。アメリカ軍の思惑と宣撫工作に関わった沖縄人スタッフの心の動きを追う。

制作：Q A B 琉球朝日放送

北海道テレビ（土）25:30～26:00+（土）06:30～07:00（再）

中革 (3 8 分)

8 5 年蜂起戰 2 0 周年

連番110

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
母なる大地を守りたい ～立ち上がるアメリカ先住民	NHK	NHK	20080618	NHKBS1	DVD	自由
			0619			

B S世界のドキュメンタリー

「母なる大地を守りたい ～立ち上がるアメリカ先住民～ 前・後編」

前編

モンタナ州北シャイアン居留地は、周囲に天然ガスが埋蔵されているため、いずれは7万5千のガス採掘井戸に取り囲まれる予定だ。採掘に伴う地下水の汲み上げと排水に含まれる塩分で土壌汚染が懸念されている。工事の中止を求め立ち上がった北シャイアンの女性が人々と土地の結びつきを語る。

アラスカ州アークティックビレッジのグイッチンは、古来、野性のカリブーを糧に暮らす。アラスカでは大手石油企業による油田開発が進み、自然保護区での採掘が検討されている。

後編

ニューメキシコ州ナバホ居留地クラウン・ポイントでは、1950年代以後、居留地内のウラン鉱山で採掘が行われていた。作業にあたったナバホの男性は多くが肺ガンなどで死亡。90年代半ば、採掘再開の話が持ち上がると、鉱山を所有する先住民と反対派の先住民が対立。

メイン州のペノブスコットは、ペノブスコット川流域に暮らし、川魚を食べてきた。しかし、製紙工場が垂れ流す汚水の影響で魚から高濃度のダイオキシンが検出される。ペノブスコットは独自に水質調査を行い汚染の状況を訴えている。

原題：Homeland : Four Portraits of Native Action

制作：Katahdin Productions (アメリカ) 2005年

担当者メモ

アメリカ先住民の血をひく制作者による渾身のドキュメンタリー。2006年、世界的に権威のある自然・環境番組フェスティバルで知られるジャクソンホールWild Film Festivalにて Best Environmental film Award /Best Festival Awardをダブル受賞した作品。

連番108

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
アメリカ海兵隊 ～変わる沖縄駐留の意味～	NHK	NHK	20100620	NHKBS1	DVD	自由

B S特集「現場報告 アメリカ海兵隊～変わる沖縄駐留の意味～」

番組内容：普天間基地の移設問題で注目される「アメリカ海兵隊」を密着取材。アメリカ軍の世界戦略の中で、沖縄の海兵隊の位置づけはどう変わろうとしているのか探る。

詳細：普天間基地の移設問題が注目される中、渦中にある「アメリカ海兵隊」がどんな組織で、いかなる役割を果たしているかはあまり語られることはない。NHK沖縄放送局では今年初めから沖縄、ハワイ、カリフォルニアという海兵隊の拠点をくまなくロケし、最新装備や訓練、世界戦略の実態をルポ。幹部の描く世界戦略や、兵士たちの心の内にも迫る取材を行ってきた。“海兵隊が沖縄に駐留する意味とは？”徹底的に考える。

連番109

タイトル
アメリカ被爆兵士の告発

著作権 製作 入手 入手先 在庫 配布条件
20080719 NHKBS1 DVD 自由

B S世界のドキュメンタリー アメリカ被爆兵士の告発

08年7月18日 金曜深夜[土曜午前] 0：10～0：56

アメリカは、1946年から1962年までの16年間にわたり、のべ11作戦、1030発の核爆弾を用いた実験を行なった。その際に何万人もの米軍兵士たちが、わずかな装備と不十分な情報しか与えられず、まるでモルモットのように、爆心からの至近距離で実験に立ち会わされた。実験後、多くの兵士が身体の不調を訴え、今なお終わることのない後遺症に苦しんでいる。

爆心から2キロほどの塹壕で爆発を目の当たりにした兵士は、大衝撃を感じた瞬間、両目を覆っていた手の骨が透けて見えたと言証する。実験前のオリエンテーションで、被曝量はレントゲン以下と、上官は説明していたという。

また、核爆弾の投下演習に参加した空軍兵士は、秒読みが終わっても爆弾が投下されず、何とか手で切り離れたものの、予定よりはるか上空で炸裂したため被爆した。海中や空中での核実験を軍艦の上で幾度も経験した兵士は、現在、自らの後遺症に加え、3人の娘がいずれも心臓や精神の障害を持つにいたっている。

アメリカの核実験における兵士たちの被爆は単なる事故だったのか?米政府と米軍は、自国民の被爆の実態については一切公表しておらず、ましてやそれが、いわゆる「人体実験」であったとは認めていない。またこれまで、被爆兵士が自らの体験を語っても、政府がそんなひどいことをするはずがないと聞く耳をもたれなかったという。

この番組は、核の恐ろしさを身を持って体験したそうした被爆兵士たちの証言を積み重ね、核実験の裏側でいったい何が起きていたのか、事実を光を当てようとしたものである。

原題： Nuclear Soldiers

制作： Atwood Keeney Productions (米国) 2000年

担当者メモ：2001年6月 NHK教育テレビ「ドキュメント地球時間」の枠で紹介された作品の再放送です。番組の中で「人体実験」という言葉は一切使われていませんが、被爆兵士たちの証言は、見事に、ある一つの真実を指し示しているように思います。

連番107

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
プリズンドッグ	NHK		20100314	NHKBS1	DVD	自由

B S世界のドキュメンタリー

プリズン・ドッグ ~僕に生きる力をくれた犬~

"あるアメリカの青少年刑務所が再犯率ゼロを記録した。現在、全米の刑務所の再犯率の平均は5割。いったい、この刑務所には何があるのか？中を覗いてみると...そこには受刑者が犬を連れ、犬と遊び、犬と寝ている姿があった。受刑者にイヌを飼育させている。「プリズン・ドッグ」と呼ばれるこの取り組みは、罪を犯し、心が荒んでしまった受刑者に、犬との交流を通じて更生して欲しいという狙いから始まった。番組では、オレゴン州のマクラレン青少年刑務所を舞台に、犬の世話を初めて任せ、次第に人間らしい感情を取り戻していく受刑者が織り成すドラマを見つめる。

連番105

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
世界に広がる飢餓の怒り	NHK		20090905	NHKBS1	DVD	自由

B S世界のドキュメンタリー <シリーズ あなたの知らない食のはなし>

世界に広がる飢餓の怒り

南北格差の進む中、世界的な食糧危機が進んでいる。その理由は温暖化や干ばつといった自然災害では無い。富める国が途上国の食のシステムを崩壊させようとしているのだ。この番組は、途上国からのレポートを交え、2008年にローマで開かれたFAO（国連食糧農業機関）の総会での各国の対応を分析。市場の自由化が進む中、農業に対して手厚い保護政策を行っている先進国から安い食糧が大量に輸出され、その結果、途上国の農業がダメージを受けているという現実を描く。

セネガルからの報告：ある農家は、米と鶏が売れなくなったという。先進各国が実施する農業補助金で安く価格を設定された輸入米と輸入鶏肉で、地元の農家は値段的に対抗できないのだ。これは途上国のほぼ全てで見られる現象になっている。

世界第2位の米生産国 タイ：タイでは米農家がデモを実施。タイの米農家は、補助金を政府から得ているものの、家族を養える収入が得られないと語る。一方で、米輸出業者は、利幅が薄くとも大量の米を扱うことで莫大な利益を得ている。生産者よりも流通業者の方が恵まれているのだ。

インド：先進国の企業は途上国の土地を購入し、進んだ技術で食糧を生産しようとしている。地元の農家には全く、太刀打ちできない。これは、“食を通じた植民地化だ”という声があがっている。マハラシュトラ州の土地も買収されメガフードパークの建設が予定されている。インドのジャーナリストは、「この地域はインドの基幹食品であるとうもろこしを栽培してきた。それがメガフードパーク向けに、とうもろこし以外の食物の栽培を始めたら基幹食品が危なくなる。」と語る。

問われる先進各国の対応

番組は、FAO事務局長（アフリカ出身）や、フランスの農相、世界銀行幹部へのインタビューを通じ、先進国に有利な自由市場の体制が、途上国の農業を圧迫しているのではないかという疑問をぶつける。世銀は、補助金は一部のアグリビジネス企業を潤すだけで、途上国の人々のためになっていない事を認めた。FAO議長は、先進各国が自国のためにしか行動しないのであれば、途上国の飢えの問題は解決しないと断言した。

連番106

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
ランドラッシュが村を襲う ～ルーマニア 穀倉地帯の攻 防～	***	***	20090905	NHKBS1	DVD	自由

B S世界のドキュメンタリー <シリーズ あなたの知らない食のはなし>

ランドラッシュが村を襲う ～ルーマニア 穀倉地帯の攻防～

ドナウ川が国土を潤す農業国ルーマニアの肥沃な農地をアメリカやヨーロッパなど世界各国の穀物企業が狙っている。肥沃な土壌は化学肥料などに汚染されておらず、地価は西欧の5分の1、2007年のEU加盟で、外国企業の農地所有が認められ、100%、土地を所有することが可能となり、参入が加速した。ランドラッシュ、農地争奪戦だ。これに対し地元の農家は「外国企業が進出するのは時代の流れだ。自分たちも競争力を高め、世界市場で勝負しよう」と農業コンソーシアム（企業共同体）を結成、経営の共同組合化を進めて攻勢に出ようとしている。しかし、穀物メジャーや外国企業に価格決定権を奪われたルーマニア農家は苦境に立たされている。はたして農民の反撃は実を結ぶのか。番組では世界の穀物企業と地元農家のコンソーシアム、両者の攻防に密着し、穀物市場におけるグローバリズムが台頭する中で、ルーマニアの大地で何が起きているのか、検証する。

原題： ランドラッシュが村を襲う ～ルーマニア 穀倉地帯の攻防～

制作： NHK/ドキュメンタリージャパン 日本 2009年

連番103

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
低価格食品はお得？	NHK		20090903	NHKBS1	DVD	自由

B S世界のドキュメンタリー <シリーズ あなたの知らない食のはなし>
低価格食品はお得？

不況が庶民の家計を直撃しているイギリス。主婦たちの味方は大手スーパーの低価格食品。番組は、この低価格食品の中身に注目。冷凍ミートパイやソーセージ、野菜、など、イギリスの家庭に欠かせない品目を徹底調査する。

イギリスの大手7社のスーパーの低価格食品と値段の高い同じ食品の成分を比較すると、例えばミートパイやソーセージなどでは100グラム中のタンパク質やビタミンB12の含有量に明らかな差があった。また、のトマトに含まれるリコピンは高価なトマトより少ないという結果が出た。

番組では、専門家に依頼し、コストを大幅に上げることなく、ミートパイやソーセージの肉の量を増やすことが可能かどうかを実験。18%しか肉が含まれていなかったミートパイの肉を25%に増やし、コスト増はわずか1ペニー（約1.5円）だった。街頭でこの<改良版ミートパイ>と低価格タイプのミートパイの食べ比べをしたところ、消費者はたちどころにその違いを見破る。

番組の取材に対し、イギリスの小売業協会の担当者は、スーパーは低価格の商品を消費者に届けるために日々努力を続けており、その内容については表示していると説明。

また、同じ地域に住む2家族が一週間の食費95ポンド（約1万5千円）以内で4週間暮らす実験に協力。ファーガソン一家はスーパーで、一方ジョンソン一家は地元の個人商店を中心に食材を買い、食費や食生活の比較をする。果たして結果は・・・。

原題： The True Cost of Cheap Food

制作： Wall to Wall イギリス 2009年

連番104

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
キング・コーン	***	***	20090904	NHKBS1	DVD	自由

~とうもろこしの国に行く~

大学を卒業したばかりのカーチスとイアンは、アメリカ最大のトウモロコシ生産地、アイオワ州で0.4ヘクタールほどの土地を借り、トウモロコシを栽培することにした。普段自分たちが口にしている食べ物の多くに、トウモロコシから作られた成分が含まれていることがわかったからだ。

トウモロコシが育つ間、2人はコロラド州の牛の飼育場を訪れる。ここでは、牛のエサを牧草からトウモロコシに切り替えた。そうすると、子牛を市場に出荷するまでの期間が数年から、わずか4~5カ月に短縮されるのだ。その間、牛は狭い小屋の中で身動きができないように肥育されるため、肉のたんぱく成分が減り、脂肪が増えている。また牛の胃の中の微生物は、牧草の消化には欠かせないが、トウモロコシを与え続けると過剰な酸を発生させ、牛が病気になってしまう。そのため最近の飼料に、微生物を殺すための抗生物質が混ぜられるようになってきている。

家畜の飼料としてトウモロコシが主流になった背景には、アメリカ政府の農業政策がある。1973年、当時のバッツ農務長官は、長年の減反政策から180度方針を転換し、補助金を出し穀物の増産を奨励。市場には安いトウモロコシがあふれるようになった。砂糖の代替品として開発されたコーンシロップは、炭酸飲料など様々な加工食品に含まれるようになり、アメリカ人の甘味料の摂取量は30%も増えた。

収穫の時期を迎えるが、2人は自分たちが作ったトウモロコシをいったいどこに売ればいいのかと考え込んでしまう。農業補助金に支えられアメリカの食卓を席卷したトウモロコシが、蔓延する肥満や糖尿病、心臓病などの元凶ではないのか・・・と考えるようになる。そして、穀物増産へと舵をきったバッツ氏の元を訪れ、思いのたけをぶつけるが...

原題： King Corn 制作： Mosaic Films/itvs USA 2008年

担当者メモ：4月から劇場公開されている映画「キング・コーン~世界を作る魔法の一粒~」のテレビ版です字幕だと情報量が制限されるので、登場人物のやりとりなど、できる限り吹き替えとしました。原作のニュアンスが正確に伝わるよう心がけました。

連番100

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
レイラ 17歳 ～パレスチナ閉ざされた町で ～	***	***	20090513	NHKBS1	DVD	自由

B S世界のドキュメンタリー レイラ 17歳～パレスチナ閉ざされた町で～

<シリーズ 世界の10代>

レイラ 17歳 ～パレスチナ 閉ざされた町で～

09年5月12日 火曜深夜[水曜午前] 0:10～1:00

17歳のパレスチナ人少女、レイラ。ヨルダン川西岸にあるパレスチナ自治区ヘブロンで、ユダヤ人入植者やイスラエル軍に囲まれながら不自由な生活を送っている。しかし、ゆくゆくはエジプトで医学やメディアを学び、いつの日かヘブロンに平和をもたらしたいと考えている。

普通の17歳と同様にインターネットから音楽をダウンロードし、イスラム教徒の女性が着用を義務づけられているヒジャブについて、着るのは自由だと話す。カメラの前で占領下におけるパレスチナ人の暮らしを率直に語り、ユダヤ人入植者やイスラエル軍の日頃の活動の様子を淡々と証言する。

ヘブロンではユダヤ人入植者とパレスチナ人との間で、衝突が日常的に起きている。ある建物には、“アラブ人をガス室へ送れ”という落書きが書かれていた。パレスチナの子供たちが登下校の際、ユダヤ人入植者から石を投げられ、ケガをすることも少なくない。

イスラエル軍の元兵士は、ヘブロン駐留中にパレスチナ人の家を一戸ずつ訪れ、占領を強化していった過程を振り返る。しかし、イスラエルは占領地でパレスチナ人に行っていることに疑問を感じる必要があり、政治的な観点からでなく一般市民の目線にたって行動すべきだと語った。

番組は、17歳のレイラの日常を通して、ヘブロンにおけるパレスチナ人とユダヤ人入植者の対立の根深さを描くとともに、平和への道を探っている。

原題：Welcome to Hebron

制作：Ekedalen Produktion（スウェーデン）2007年

連番101

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
土井敏邦 ガザ現地報告	***	***	20090***	NHKBS1	DVD	自由

土井敏邦 ガザ現地報告

連番102

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
ガザ ～ハマスと人々の6ヶ月～	***	***	20090210	NHKBS1	DVD	自由

B S世界のドキュメンタリー ガザ ～ハマスと人々の6ヶ月～

[紹介] 06年1月ハマス圧勝を封殺する国連・欧米諸国の不条理を描く

ガザ ハマスと人々の6ヶ月

N H K B S世界のドキュメンタリー “シリーズ パレスチナとイスラエル”

(2 0 0 6年8月5放送 2 0 0 9年2月1 0日再放送)

2 0 0 6年1月、民主的な評議会選挙の末、ハマスが勝利した。それはハマス自身の予想をも超えた圧勝だった。イスラエルに妥協的で外国からの支援を利権化し腐敗したファタハは、パレスチナ人民から見限られたのである。選挙は1 0年ぶりであり、欧米諸国からの要求に応じたものであった。ところが、欧米諸国や国連は、いざハマスが勝利してしまうと手のひらを返したようにハマスたたきをはじめた。パレスチナへの支援を停止したばかりか、イスラエルがパレスチナを経済封鎖しても、空爆してパレスチナの子供や女性などを虐殺しても黙って見ている。ハマスとそれを支持するパレスチナ人民がイスラエルに抵抗することを止めないからである。

ガザ地区最大の公立シファ病院の医師アーデル・モルタジャさんは、ファタハの政権に近い人たちだけが富んでいく事に疑問を感じハマスに投票した。「新しい政権ができて、よりよい時代が来ることを望んだのです。」モルタジャさんの妻ワファさんは「私たちは選挙を行い、民主主義を実行したのです。その選挙結果を世界はひっくり返そうとしています。その上、みんなが頼りにしてきた支援をカットするなんてとんでもないことです。私たちパレスチナ人には大きな打撃です。」と憤って語る。

ハマスがファタハから引き継いだ政府の財政は既に破綻状態だった。それどころ

か借金だらけだった。自治政府の予算はおよそ20億ドル。半分以上はイスラエルが代理で徴収する税金と外国の支援によるもので、イスラエルの経済制裁と欧米諸国の支援停止で財政運営は完全に行き詰まった。ハマスは住民に募金を求めた。多くの人たちがハマスの政府を支援した。ハマスとは、イスラム抵抗運動の意味で、パレスチナの土地を奪ったイスラエルに抵抗し、いつかは故郷に帰ることを夢見るパレスチナ人民の悲願を実現しようとしている。

その頃イスラエルではオルメルトが新首相となった。オルメルトはパレスチナを一方的に分離する総延長700キロの壁建設を進めた。ハマスとの話し合いを拒否し、パレスチナとの国境を一方的にイスラエルの都合の良いように確定するためである。また、イスラエルはパレスチナの検問を強化し、パレスチナの農産物の輸出を妨害、重病のパレスチナ人の移動を制限した。きゅうりやいちご、トマトなど農産物が輸出出来ずに廃棄されていく。封鎖とは、単に食糧や生活物資が入ってこないだけではない。あらゆる経済活動や生活を締め上げるものだとなる。経済制裁で医療が満足に受けることができなくなった透析患者は死んでいった。

ハマスは組織の中に軍事部門を持っているが、政府に参加すると共にイスラエルへの攻撃は自粛していた。しかし、二つの事件が事態を変えてしまう。イスラエルがハマスの治安部隊のトップ、アブサム・ハダナ氏を暗殺し、子供を含む市民を爆殺したのである。ハマスは武力による報復を余儀なくされた。イスラエルはハマスの攻撃を待っていたかのように大規模な空爆を行い、ガザの発電所や橋などを破壊した。

モルタジャさんは「ハマスが選挙で選ばれてから私たちはつらい苦しみを味わってきました。しかし、それは目標に到達するためなのです。」「我々は苦しんでいます。しかしいつか自由と独立を勝ち取れる。私はそう思いたいのです。」と語っている。

ハマスとイスラエルのどちらが暴力的なのはこの番組を見るだけで充分に分かるだろう。

番組は、イスラエルが半年間で150人ものパレスチナ人を殺害し、さらにレバノンに対しても侵略を開始したことを伝えて終わっている。

2009年3月7日 リブ・イン・ピース 9 + 25

連番98

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
封鎖された町に生きて	NHK	NHK	20090424	NHKBS1	DVD	自由

B S世界のドキュメンタリーシリーズ 封鎖された町に生きて（再放送）

<シリーズ パレスチナとイスラエル>

封鎖された町に生きて ガザ ウンム・アシュラフ一家の戦い（再）

4月24日 0：10～1：00

イスラエルによる経済封鎖が続く、パレスチナ・ガザ地区。ガスや電気、水の供給がしばしば止まり、生活必需品の欠乏に人々は苦しめられている。そのガザに暮らす女性、ウンム・アシュラフ（60）さん一家をジャーナリストの古居みずえ（映画「ガーダ」監督）が、12年以上にわたって撮り続けてきた。

ウンム・アシュラフさん一家は夫、息子たちとその家族、娘の家族と30人を越える大家族。「封鎖」の中、息子や夫の仕事はなくなり、家計をやりくりするウンム・アシュラフにとっては、頭が痛い。家族はささいなことでイライラしけんかが絶えなくなる。独身の五男は結婚したいと望んでいるが、新居を作る金もなく、見通しがたたない。でも「パレスチナ人はあきらめない」と語るウンム・アシュラフは、工夫を重ねてその日その日を何とか乗り切っていく。

「封鎖」という状況の中、パレスチナ・ガザの人々は一体どうなっているのか。外からはなかなか分からない人々の暮らしを、古居のカメラがパレスチナ人女性ウンム・アシュラフの目線で描いていく。

‘08年10月12日にBSドキュメンタリーで放送。

原題：封鎖された街に生きて ～ガザ ウンム・アシュラフ一家の闘い～

制作：NHK/アジアプレスインターナショナル（日本）2008年

連番99

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
子どもたちは見た	NHK	NHK	20090425	NHKBS1	DVD	自由

BS世界のドキュメンタリーシリーズ 子どもたちは見た

<シリーズ パレスチナとイスラエル>

子どもたちは見た パレスチナ・ガザの悲劇

4月25日 0:10~1:00

去年末、イスラエルが侵攻したパレスチナ・ガザ。空爆と地上攻撃によって多くの犠牲者が出た。20年間にわたってパレスチナに通い続け、去年、BSドキュメンタリー「封鎖された町に生きて」で、経済封鎖下のガザの人々取材したジャーナリスト・古居みずえは、侵攻直後のガザに飛んだ。

「ありとあらゆるものが攻撃にさらされた。このような凄惨な現場は今まで見たことがない」。破壊されたガザで、古居が痛ましいと感じたのは、目の前で肉親を亡くした子どもたちだった。

猛烈な爆撃と激しい銃撃に見舞われ、恐怖の中をかるうじて生き延びた子どもたち、しかし間近で、親・兄弟や友だち・近所の人々の無残な死を目撃し、癒されることのない深い心の傷を負った。古居はそうした経験を経た子どもたちの声と姿を丹念に記録に留めた。

子どもたちの網膜に焼きついた光景とは何か。廃墟と化した町で、これからどう生きていくのか。世界を驚かせたイスラエルによるガザ侵攻。その現実を、「子どもたちの視点」から取材していく。

連番97

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
レインボウ	NHK	NHK	20090212	NHKBS1	DVD	自由

B S世界のドキュメンタリーシリーズ レインボウ

<シリーズ パレスチナとイスラエル>

レインボー ~ガザ あるカメラマンの記録~ (再)

4月20日 月曜深夜[火曜午前] 0:10~1:00

2004年5月、イスラエル軍はパレスチナ暫定自治区のガザ地区で、パレスチナ過激派に対し大規模な掃討作戦を展開した。この軍事作戦「レインボー作戦」によって南部の町ラファを中心に住宅が破壊され、子どもを含む多数の民間人が犠牲となった。

番組は、一人のパレスチナ人カメラマンの目を通して、「レインボー作戦」によって破壊されたガザ地区を描く。イスラエルの占領を象徴する瓦礫の山をモチーフに、子どもや妻をなくした人々の悲しみに向き合い、ときに自分の半生を振り返りながら、パレスチナの人々が抱える心の痛みや苦しみに迫る。

連番95

タイトル 著作権 製作 入手 入手先 在庫 配布条件
バグダッド青春グラフィティ NHK NHK 20080320 NHKBS1 DVD 自由

B S世界のドキュメンタリーシリーズ イラク 開戦から5年

「バグダッド 青春グラフィティ」 午後9:10~9:59

2006年秋から07年夏までの10ヶ月間、バグダッド市内の高校に通う、人種や宗派の異なる4人のクラスメイトの日常を追う。彼らはいずれも中流の上ぐらいの家庭で不自由なく育ち、ラップやロックが大好きで、授業をサボってサッカーに興じる典型的な17、18歳の男子生徒だ。この時期のバグダッドは、宗派对立による虐殺とアルカイダのテロが横行し、毎日100人近くの一般市民が殺されるという、イラク戦争始まって以来最悪の治安状況にあった。

爆音や銃声が日常の一部となり、米軍の検問所以外、通りから人影が消えたバグダッド。スンニ派とシーア派が半々というファミリーに生まれたモハメッドは、母親に車で送ってもらうほか通学の手段がなくなった。11月、フセインの死刑判決がテレビで流れると、家では喜びの歓声上がるが、モハメッド自身は、「フセインは殺戮と治安をもたらした」と、その功罪を語る。一方、いつも彼女の話題にしか関心がないクリスチャンのアンマールは、フセイン処刑の日、「イラクは終わりだ。国家元首をあんな形で処刑してはならない」と憤る。

年が明け、モハメッドの叔母が近所の人に殺され、いとこたちが彼の家に避難してきた。バグダッド市民は、危険な街に留まるか、既成の生活を捨て逃げるかの選択を迫られる。バグダッドで生まれ育ち、モハメッドとは小学校からの大親友というクルド人のアリは、家族が北部のアルビルに引っ越すというので従わざるを得ない。モハメッドの母親は、パスポートを無くした息子のため役所に行くが、混雑のためいつまでも発行してもらえない。シーア派のハイダーは、家庭が破産寸前に追い込まれ、携帯電話を使えなくなっただけでなく、車からガソリンを抜いて家の燃料にする毎日だ。

猛暑の6月、高校の卒業試験は、電力不足でエアコンが使えないため、屋外の廊下に机を並べて実施された。大学進学を志望する4人は、無事卒業できるのか……？ ニュース映像や政治情勢を説明するコメントを極力廃し、少年たちの目線から等身大のバグダッドの暮らしを見つめた作品。絶望の中にも希望があり、ユーモアあり、涙ありの青春グラフィティ。

[制作] BBC 英国 / 2007

[原作] The Boys from Baghdad High

連番96

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
微笑と虐待	NHK		NHK 20081005	NHKBS1	DVD	自由

N H K 20081005 50分

2003年に起きたアブグレイブ刑務所事件。兵士が笑顔でイラク人収容者を虐待した写真は世界を驚愕させた。虐待はなぜ行われたのか、関わった兵士らの証言をもとに描く。

2003年、イラクで起きたアブグレイブ刑務所虐待事件。兵士たちが笑顔でイラク人収容者を虐待している様子をとらえた写真は、世界を驚がくさせた。発覚後の軍法会議では、虐待は兵士らの自由意志で行われたと認定。写っていたか、撮影した7人は有罪になったが、虐待を命令したとされる軍上層部は罪に問われなかった。微笑の虐待はなぜ行われたのか、虐待を行った兵士や告発した兵士らの証言をもとにアメリカ軍の狂気を描く。

連番93

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
日本のこれから	NHK		NHK 20070815	NHK総合	DVD	自由
N H K 200708151930 75分						

連番94

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
日本のこれから	NHK		NHK 20070815	NHK総合	DVD	自由
N H K 200708152200 89分						

連番91

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
全国戦没者追悼式	NHK	ドイツ	20070815	NHKBS1	DVD	自由

N H K B S 1 20070815 15分

連番92

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
証言記録マニラ市街戦	NHK		20070815	NHKBS1	DVD	自由

N H K B S 1 20070816 90分(最後が10分程尻切れている)

ハイビジョン特集 証言記録マニラ市街戦～死者12万 焦土への1か月～

BShi8月5日(日) 後7:00～8:50

B S 特集 証言記録 マニラ市街戦

【BS1】8月16日(木) 後10:10～11:00 後11:10～前0:00

太平洋戦争最大の市街戦「マニラ市街戦」。1945年2月3日から3月3日の攻防戦の死者は12万人。そのうち10万人がフィリピン人だった。持久戦を強いられた日本兵は斬り込み攻撃を繰り返し、米軍の激しい無差別砲撃を招く。双方が人を見れば敵と思う極限状況のなかでフィリピン人に対する殺戮が重ねられていった。それから62年、わずかに生存する「マニラ海軍陸戦隊」の元兵士たちが、人生の最晩年を迎え、ようやく重い口を開き始めた。市街戦の一か月、兵士たちの行動や心理はどのように変っていったのか。なぜこれほど多くのフィリピン人が犠牲になったのか。米国で公開された市街戦の記録、日米の元兵士とフィリピン人生存者の証言によって、マニラ市街戦の一か月の実像に迫る。

連番89

タイトル 著作権 製作 入手 入手先 在庫 配布条件
ドイツ“アウシュビッツ裁判”～自ら裁いた大量
虐殺～

N H K B S 1 20050821 (再20070818) 49分

ドイツ“アウシュビッツ裁判”～自ら裁いた大量虐殺～

05年8月21日 日曜日 後10:10～11:00

07年8月18日 土曜日 後10:10～11:00(再放送)

1945年1月ソビエト軍がアウシュビッツを解放したとき親衛隊事務所には廃棄しきれなかった内部文書が散乱していた。ドイツ・ヘッセン州の司法長官は、戦時中政治犯としてナチに虐待された経験からアウシュビッツ裁判の開催を強く主張、検察が証拠の収集に当たった。

その結果、親衛隊がガス殺用のチクロンBを取り寄せた際の命令書、毎日の処刑人数を示す記録がソ連軍押収文書のなかから発掘され、ナチ親衛隊の責任を初めて実証した。さらに、戦後、責任を問われることなく市民生活を送っていた元親衛隊員個人の犯罪も明らかになっていく…。

ドイツの市民が自ら、ホロコーストという過去を見つめ直す結果となった裁判のプロセスを振り返る。

原題：Frankfurt Auschwitz Trial

制作：HR(ドイツ) 2005年

連番90

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
マッカーサーが見た日本の降伏	NHK	フランス	20070818	NHKBS1	DVD	自由

N H K B S 1 20070818 49分

05年8月21日 日曜日 後11:10~翌0:00

07年8月18日 土曜日 後11:10~翌0:00(再放送)

番組は、1945年8月30日、マッカーサー将軍が厚木におりたつところから始まる。日本兵は厚木から横浜のニューグランドホテルに至る道の両脇に直立不動で立ち、将軍らの車列が行き過ぎるのを整然と警護した。

翌々日9月2日早朝。ミズーリ艦上に続々と連合軍代表が集まってきた。最後に敗戦国代表として重光外相、梅津将軍ら。艦上には170人の記者と25台以上のカメラが集結、マッカーサー将軍が進行役のこの調印式はラジオで全米に生中継された。

この調印式の一部始終の大部分は日本人が目にしたことのない興味深い映像で、そのディテールを見ていくことで、敗戦の日が浮かび上がってくる。

原題：Tokyo the Day the War Ended

制作：Point du Jour（フランス）2005年

連番87

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
実録ニュルンベルク裁判 前編	NHK	フランス	20070817	NHKBS1	DVD	自由

N H K B S 1 20070817 50分

実録 ニュルンベルク裁判 前編 / 後編
(フランス Phares & Balyse 制作)

1945年の春、ドイツ南部の都市ニュルンベルクで行われた国際軍事裁判は、第二次世界大戦の戦勝4大国によってナチスの指導者たちを裁くために行われた。番組では、アメリカの映画監督ジョン・フォードによって撮影された記録映像と関係者のインタビューによって、ゲーリングやカイテルをはじめ21人のナチス高官が被告として入廷する様子から判決の瞬間まで、史上類を見ないナチスの大罪が暴かれていく様子を克明に綴っている。

前編では、米検察団のジャクソン首席検事による冒頭陳述、そして21名の被告がそれぞれのやり方で無実を主張する罪状認否へと続く。この裁判では、ナチスの残虐行為を合法的に裁くため、“平和に対する罪”“人道に対する罪”という新しい概念が起訴状に取り入れられた。さらに、戦勝4大国からなる検察団は法廷内に特別に設置された巨大スクリーンでナチ党の記録映画や強制収容所の映像を証拠として上映した。無数の死体が山積された強制収容所をはじめ目を覆いたくなるような惨状を前に、自らの罪を突きつけられたナチス指導者たちは法廷で何を思っていたのか。

前編：8月17日（金）22:15～22:58 BS1＜2ヶ国語放送＞

連番88

タイトル 著作権 製作 入手 入手先 在庫 配布条件
実録ニュルンベルク裁判 NHK フランス 20070817 NHKBS1 DVD 自由
後編

N H K B S 1 20070817 43分

後編では、ユダヤ人絶滅政策に加担したナチスの実行犯を始め、さらに強制収容所に送られながらも奇跡的に生き残った人々が、証言台へと向かう。ユダヤ人の大量殺戮を行った親衛隊の将軍オーレンドルフの証言により、恐ろしい処刑の実態が明らかになる。250万人もの命を奪ったことを平然と証言するアウシュビッツ強制収容所の所長、そして収容所で命を取り留めた女性が生き証人となり収容者たちがたどった悲惨な運命が語られた。

そしてヒトラーの右腕とも言われた第三帝国の帝国元帥ゲーリング。彼はナチズムの復活を目論み、証言台を自らの演説の場に変えようとするが、それを阻止しようとするジャクソン首席検事との激しい攻防戦が繰り広げられる。膨大な数の人々を死に追いやった被告たちは、法廷で一体何を語るのか。10カ月に及んだ裁判の最後に行われた最終弁論では、中心人物であったゲーリングとカイテルが自らの胸のうちを語る。そして、恐ろしい大規模犯罪を行った被告たちに対し、いよいよ判決が下される。

後編：8月17日（金）23:10～0:00 BS1<2ヶ国語放送>

連番84

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
広島平和記念式典	NHK		NHK 20070806	NHKBS1	DVD	自由

N H K B S 1 20070806 36分

連番85

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
長崎平和記念式典	NHK		NHK 20060809	NHKBS1	DVD	自由

N H K B S 1 20070809 60分

連番86

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
朝鮮人遺骨問題	NHK		NHK 20080122	NHK総合	DVD	自由

N H K 総合20080122 10分

連番82

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
広島平和記念式典	NHK		NHK 20060806	NHKBS1	DVD	自由

N H K B S 1 200760806 36分

連番83

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
長崎平和記念式典	NHK		NHK 20060809	NHKBS1	DVD	自由

N H K B S 1 200760809 60分

連番80

タイトル	著作権 製作	入手	入手先	在庫	配布条件
ワーキングプアIII ～ 解決への道～	NHK	NHK 20071216	NHK総合	DVD	自由

NHK総合200712162115..2234 79分

NHKスペシャル「ワーキングプアIII ～ 解決への道～」

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/071216.html>

去年2回にわたって放送したNHKスペシャル「ワーキングプア」は、日本で拡大する“働く貧困層”の実態を伝え、大きな反響を呼んだ。今回の「第3弾」では、海外にも取材を広げ、問題解決に向けた道筋を探る。

ワーキングプアの問題は、グローバル化が進む中、日本と同じように市場中心の競争を重視する世界の国々でも、今や共通の課題となっている。非正規雇用が急速に拡大する韓国では、低賃金の生活に耐えきれず自殺者が続出している。世界経済の中心・アメリカでは、IT企業のエリートまでもが海外の労働者との競争に晒され、低賃金に転落している。

こうした国々では、問題解決に向けた対策も始まっている。米ノースカロライナ州では、地域全体で医療関連産業とその人材の育成に取り組み、ワーキングプアのための新たな雇用を創出した。貧困の連鎖が進むイギリスでは、子どもから大人まで手厚い保護の網を張り、国を挙げて貧困の撲滅に乗り出している。そして日本でも、ようやくこの問題を「社会の責任」と受け止め、ワーキングプアの人たちを支えようと模索する地域や企業も出てきている。

番組では、世界と日本の最前線の現場にカメラを据え、直面する課題と解決に向けた取り組みを追う。そして各国の識者の提言も交えながら、ワーキングプアの問題とどう向き合うのか、もう一度、国民的議論を呼び起こす。

連番81

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
綿花地帯からの告発	NHK	LynxMedia	20080101	NHKBS1	DVD	自由

NHKBS1 20070206 20080101再放送

B S世界のドキュメンタリー「綿花地帯からの告発」49分

<http://www.nhk-jn.co.jp/002bangumi/topics/2007/006/006.htm>

【シリーズ 目覚める大国インド】 綿花地帯からの告発

(デンマーク Lynx Media制作)

ヨーロッパの大手スーパーなどで安く売られるタオルやシャツなどの綿製品の多くが、実はインドで劣悪な労働環境の下、製造されているものだった。利潤を追求する先進国企業の裏では途上国の労働者の生命が危険にさらされているという、グローバル経済に警鐘を鳴らす番組。

インド北西部の綿花栽培地帯では、生産性を上げ価格競争力を高めるため、農薬の大量散布が行われている。使用されている農薬はEUではすでに使用禁止となったものばかりで、中には専門家が「大量破壊兵器」とさえ呼ぶ劇薬まで含まれる。にもかかわらず、インドでの管理方法は極めてずさんで、取扱説明書の読めない農民は防護服も着用せず、素手で農薬を散布していた。その結果、綿花地帯でのガン発症率は爆発的に急増し、次々とガン専門病院が新設されている。

取材班は、北欧の大手チェーンストアに綿製品を卸している繊維工場の実態を暴くため、現地で突撃取材を敢行。ある繊維工場では14歳未満の児童労働者が大勢働き、またある工場では、労働者が素足で漂白剤に浸かりながら作業していた。医療施設で労働者に検診をおこなったところ、皮膚や肺の機能に異常が見られた。さらに排水を無処理のまま近くの湖に垂れ流していた工場も発覚した。

このような下請け業者の現状を取材班に突きつけられた北欧の大手企業は現地調査を行うと約束するが、果たしてその約束は守られるのか。

連番77

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
調査報告・劣化ウラン弾 ～米軍関係者の告発～	NHK		NHK 20060824	NHK総合	DVD	自由

NHK総合200608062100..2149 49分

NHKスペシャル「調査報告・劣化ウラン弾～米軍関係者の告発～」

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/060806.html>

核廃棄物から作られ、極めて安い値段で高い効果を上げる兵器「劣化ウラン弾」。イラクやコソボなどの戦場の周辺住民たちの中には、ガンや白血病、先天性異常などに苦しむ人が増えている。その一方、劣化ウラン弾を大量に使い続けてきた米軍は「病気の原因となる科学的な根拠は見つかっていない」として、その危険性を否定し続けてきた。

しかし、最近になって米軍の内部からその危険性を訴える告発が相次いでいる。米軍の調査に協力したある科学者は劣化ウランに被爆した兵士の遺伝子に異常があることを突き止め、その事実を公表した。「劣化ウラン弾調査班」の班長を務めていた元陸軍少佐は、劣化ウラン弾による環境汚染を測定した内部のデータを初めてNHKに対して明らかにした。

また最近、劣化ウランの発ガン性や毒性などを示す科学的な研究報告も相次ぎ、米軍の主張は揺らぎ始めている。

番組では、米軍の劣化ウラン弾関係者への調査報道によって、長年、軍が隠し続けてきた劣化ウラン弾の実態を明らかにする。そして人命より経済性、軍事力が優先される米軍の深い闇を浮き彫りにする。

連番78

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
分断パレスチナ	NHK		NHK 20070711	NHK総合	DVD	自由

クローズアップ現代「分断パレスチナ」26分

<http://www.nhk.or.jp/gendai/kiroku2007/0707-2.html>

イスラム原理主義組ハマスとアッバス議長率いるファタハが、それぞれガザ地区

とヨルダン川西岸を支配下に置く前代未聞の事態となったパレスチナ情勢。イスラエルとの和平を巡り、根本的な見解の違いを乗り越えられない両者の深い溝が、改めて浮き彫りになった。今後ハマスはどのような動きに出ようとしているのか。一方のアッバス議長率いるファタハは、どんな解決策を模索しようとしているのか。ハマスの支配下におかれたガザ地区のルポや、双方の当事者への中継インタビューなどから、パレスチナ"分断"の実態と中東情勢の行方に迫る。(NO.2442)

中継出演 : ガジ・ハマドさん(ハマス報道官)
: サエブ・アリカットさん(ファタハ幹部)
: 飯島 大輔(NHKエルサレム支局・記者)

連番79

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
米軍再編に翻弄される人々～韓国・平澤市からの報告～	NHK		NHK 20070719	NHKBS1	DVD	自由

7月19日(木) NHK・BS1「きょうの世界」 23:15～(25分)
特集ワールド 「米軍再編に翻弄される人々～韓国・平澤市からの報告～」

<http://www.nhk.or.jp/kyounosekai/>

NHK衛星放送で、「米軍再編に翻弄される人々」と題して、在韓米軍の再編によって土地を追われた農民たちや米兵削減の煽りを受けて瀕死の経営状態に追い込まれた米軍基地ゲート前商店街の人々の暮らしを追ったドキュメンタリーを放送いたします今年3月下旬に移住させられた農民たちがその後どうなったか? という新撮も含めてご紹介します。(中井信介・ビデオジャーナリスト)

連番75

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
明治教科書疑獄事件 国定化への道	NHK		NHK 20070520	NHK総合	DVD	自由

NHK特集「明治教科書疑獄事件 国定化への道」1時間20分

<http://www.nhk.or.jp/archives/nhk-archives/past/2007/h070520.html>

今回は、明治時代に義務教育が始まってから、教科書が抱えてきた問題取材した番組と、年間シリーズ「にっぽんくらしの記憶」、1960年代の街を彩る色についての番組をお送りします。

NHK特集「明治教科書疑獄事件 ~国定化への道~」(49分)

1982年(昭和57年)5月10日放送

現在、教科書は出版社が作り、文部科学省の検定を受けて完成します。義務教育が始まった明治19年も、今と同じく教科書は出版社が作っていました。しかし、ある事件をきっかけにして教科書は国が作ることになったのです。番組では国が教科書を作る引き金となった事件取材しました。

NHK短編映画「街の女性の服と色と・・・」(18分)

1960年(昭和35年)2月29日放

1960年の街を彩る女性の服を色の視点からとらえた番組です。衣類や小物に使われる色、その年の流行色はどうしてできていくのか? 年齢や職業によっても好み左右される色の科学を昭和30年代の風俗とともにご紹介します。

スタジオにコラムニストの泉麻人さんをお招きして、昭和30~40年代と現在について、お話をお伺いしました。

連番76

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
巨大教会が政治を動かす ～アメリカからの報告～	NHK		NHK 20070710	NHK総合	DVD	自由

クローズアップ現代「巨大教会が政治を動かす～アメリカからの報告～」

<http://www.nhk.or.jp/gendai/kiroku2007/0707-2.html>

今、アメリカでは「メガチャーチ」と呼ばれる巨大教会を拠点に信者が急増。来年行われる大統領選挙にも影響を与える勢力として注目を集めている。メガチャーチはショッピングモールのような施設にレストランから託児所まで備えた一種のコミュニティ空間。格差や競争で分断された人々が集える「場」となっている。これまで宗教保守の牙城だったメガチャーチだが、信者の急増によって「中絶反対」「同性婚反対」だけでなく、「温暖化」や「貧困」といった問題も重視し、政策的には民主党に接近。"宗教に熱心な人＝共和党支持"という構図が変わりつつある。宗教と政治が密接に絡み合うアメリカで、早くも過熱する大統領選の知られざる側面に迫る。(NO.2441)

スタジオゲスト：久保 文明さん（東京大学教授）

中継出演：大越 健介（NHKワシントン支局長）

連番72

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
日本独立 その光と影	NHK		NHK	20060906	NHK総合	DVD 自由

シリーズ日本独立 その光と影 ～吉田茂とサンフランシスコ講和条約～ <後編>

http://www.nhk.or.jp/sonotoki/2006_09.html#01

昭和20(1945)年8月15日、終戦。しかし、日本には「独立」のための“もうひとつの戦い”が残されていた。その陣頭に立ったのが、吉田茂。吉田は、より犠牲の少ない条件で独立する「寛大な講和」を目指す。多額な賠償や領土割譲が強いられば、日本は再生不能に陥るからだ。

朝鮮戦争がぼつ発し、冷戦が激化するなか、日本を西側陣営に取り込みたいアメリカは、賠償請求などがない寛大な講和条件を提示。いよいよ吉田はアメリカとの直接交渉に挑む。しかし、そこで米代表・ダレスに条件を突きつけられる。それは日本の「再軍備」要求だった。新憲法で戦争放棄をかかげた日本。しかし、この要求をのまない講和は頓挫する。葛藤の末、吉田は再軍備を密約。これにより、講和の動きは一気に進展する。

昭和26年9月4日、サンフランシスコ講和会議の幕が開く。不参加表明していたソ連と東欧諸国が加わり、会議では東西陣営が激しく衝突。さらに、アジア諸国の日本に対する厳しい発言が相次ぐ。

しかし結果、52か国中49か国が調印し、条約は成立。日本は寛大な条件による「独立」を勝ち取った。さらに同じ日、吉田は米軍基地に向かう。「日米安全保障条約」に調印するためだった。独立とともに、日本は「米軍駐留」「再軍備」という課題を背負うことになる。

シリーズ後編は、寛大な条件で独立を勝ち取るため、吉田が結んだ2つの条約の功罪を描く。

連番73

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
硫黄島玉砕戦	NHK		NHK	20060826	NHK総合	DVD 自由

NHKスペシャル「硫黄島 玉砕戦 ～生還者 61年目の証言～」

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/060807.html>

太平洋戦争の最激戦地となった硫黄島で何が起きていたのか。戦後61年目にして改めて歴史の光が当たろうとしている。

昭和20年2月から1か月の死闘の末、2万人の日本軍守備隊は援軍や補給を断たれて「玉砕」、その戦いは本土決戦に向けて国民を鼓舞する象徴とされた。しかし兵士たちはどのように玉砕戦を戦い、命を落としていったのか、これまでその詳細が語られることはほとんどなかった。負傷した結果、米軍の捕虜となり、奇跡の生還を遂げた元兵士もいたが、犠牲者への配慮から口をつぐんできたためだ。

今回、捕虜尋問記録をはじめ米軍資料やわずかに残る生還者の証言から浮かび上がった真実。それはいわゆるバンザイ突撃

のような玉砕ではなく、兵士一人ひとりが楯となり、米軍の占領を遅らせ皇国に寄与する、という凄まじい持久戦だった。命令系統は崩壊し、水も食料もない中、兵士たちは降伏を拒み孤立した戦いを続けながら壮絶な死を遂げていったのである。

一方、死傷者2万8千人を出す史上最悪の戦闘となったアメリカでは衝撃を受け、空襲を中心とする「味方に犠牲を出さない戦争」へと傾斜を深めていくことになる。

日米双方の兵士の証言、人が住めない島になった硫黄島の現況、新発掘の資料を徹底取材し、近代戦争の転換点と言われる硫黄島の戦闘の真実を明らかにする。

連番74

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
日中戦争～なぜ戦争は拡大したのか？	NHK	NHK	20060817	NHK総合	DVD	自由

NHKスペシャル「日中戦争～なぜ戦争は拡大したのか」

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/060813.html>

1937年、盧溝橋（ろこうきょう）事件に始まった日中戦争。戦闘は8年間にわたり、日中双方におびただしい犠牲をもたらした。そしてこの戦いを通じて日本は英米との関係を悪化させ、太平洋戦争への道を突き進んでいく。日中戦争はなぜ拡大したのだろうか・・・。

その背景を物語る重要な資料が公開された。当時、中国国民政府を率いた蒋介石の日記である。この日記から浮かび上がる蒋介石の意図。それは日中戦争を世界戦争へと連動させ、米ソの力で日本軍を倒すという長期的な構想である。

蒋介石は戦前からドイツ軍事顧問団によって軍を近代化し、最新兵器による軍備を進めていた。さらに戦争が始まると、国際社会の注目が集まる上海近辺に精鋭部隊を派遣。英米の経済制裁やソビエトの参戦によって戦局の好転をはかろうとした。

これに対し、日本政府は国際社会の批判を避けるため、不拡大方針を掲げたにも関わらず、なしくずしに全面戦争に突入してしまった。その背景には、蒋介石政権を弱小と見て、「一撃で倒せる」と考えた日本軍の誤った状況認識があった。出先の軍を率いる司令官らは満州事変の経験から中国の力を過小評価し、独断で首都南京攻略へと進軍。日本政府もこれを追認してしまったのである。

中国の真意と力を読み違えた日本。それは泥沼の日中戦争から太平洋戦争という破局をもたらした。初公開の資料から、日中戦争を日中だけでなく、アメリカ、ドイツも含めた国際的な視野からとらえ直す。そして日中戦争がなぜ拡大したのかを明らかにしていく。

連番71

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
脱アメリカ宣言 ～ベネズエラ・7年目の チャベス革命～	NHK		NHK 20060827	NHK総合	DVD	自由

NHKスペシャル「脱アメリカ宣言～ベネズエラ・7年目のチャベス革命」

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/060721.html>

21世紀の潮流 ラテンアメリカの挑戦（2回シリーズ）

第1回「脱アメリカ宣言 ベネズエラ 7年目のチャベス革命」

「アメリカの裏庭」と言われた中南米、ラテンアメリカでいま続々と左派政権が誕生し、アメリカが主導する南北アメリカの政治・経済の統合にノーを突きつけ始めた。

アメリカはこれまで軍事力でラテンアメリカの政権を転覆し、IMF（世界通貨基金）や世界銀行などを通じて経済の構造改革を求めてきた。しかし、そうしたアメリカの対策が、独裁政権を生みだし、貧困と格差をもたらしたことに民衆が目覚め、当のアメリカに対して異議申し立てを始めたのである。

ベネズエラのチャベス大統領は石油の莫大な収入を背景に社会主義革命を進め、ブラジルのルラ大統領はサトウキビから石油の代替エネルギー・エタノールを生産し、貧困の撲滅をめざし、チリ初の女性大統領バチェレはピノチェト軍事政権下の負の遺産から脱却し、「成長と平等」を実現しようとしている。

新しいリーダーたちは互いに連携しながら、発展めざましい中国・インド・EUなどと急接近し、21世紀の「潮流」の担い手として表舞台にせり上がってきた。こうした動きに警戒感を強めるアメリカは、ラテンアメリカをイラク後の不安定地域と位置づけ、その対策に本腰を入れはじめた。共存か衝突か、いま世界の熱い視線がラテンアメリカに注がれている。

第2回「格差からの脱出 ～ブラジル・チリ～」

連番69

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
首飾りを作ったのは誰？	NHK	Carnival	20061113	NHKBS1	DVD	自由
		esque Fi				
		lms (ア				
		メリカ)				

B S世界のドキュメンタリー 「首飾りを作ったのは誰？」

<http://www.nhk.or.jp/wdoc/backnumber/detail/061113.html>

首飾りを作ったのは誰？ ～中国 出稼ぎ少女の労働事情～ 06年11月13日

「そのビーズ、どこからやってきたか知っていますか？」「誰が作ったのか考えたことがありますか？」ニューオーリンズの「マルディグラ」。この祭りの主役は、色とりどりのビーズのネックレス。街を練り歩く巨大な山車から投げられるビーズを手にした人には、幸福が訪れると言われ、見物客たちは先を競って拾いあう。そんなお祭り騒ぎの中で投げかけられた問いに、人々は言葉を失う。安ければ安いほどいいと考えていた製品が、途上国の人たちの犠牲の上に成り立っているという事実を、目の当たりにつきつけられるためである。

ビーズがやってくるのは中国・福建省の工場からだった。地方から出稼ぎにやってきた10代の少女たちが、休みなく稼働し続ける生産ラインに向き合い、1日12時間以上の長時間労働を行っているという現実があった。

華やかなアメリカのカーニバル会場と重労働の続く中国のビーズ工場。双方にその映像を見せながら、番組は進行する。

原題：Mardigras : Made in China

制作：Carnivalesque Films (アメリカ) 2006年

担当者メモ：「ビーズ」という題材を通して、消費者と生産者のお互いの顔をビデオレターで結びつけたのがこの番組のユニークな制作手法。普段は忘れがちな現実を改めて見つめ直し、その格差について考えるきっかけを与えています。

連番70

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
クローズアップ現代 豊かな社会 広がる貧困	NHK	NHK	20070517	NHK総合	DVD	自由

<http://www.nhk.or.jp/gendai/kiroku2007/0705-3.html>

5月17日(木)放送

ワーキングプア アメリカからの警告

「働いても働いても、豊かになれない」と大きな問題となっているワーキングプア。アメリカでは、日本に先駆けて深刻化し、注目を集めている。「勤勉に働けば報われる」という米経済の理念が、ついに崩れ始めたからだ。貧困が貧困を生む連鎖と、世代を超えて悪化していく状況に歯止めがかからない。市場経済の裏側で進行するこの事態をルポし、全米に議論を巻き起こしたジャーナリスト、デイビッド シプラーさんが、今月、来日した。「将来の日本の姿」とも言われるアメリカの実態から、日本は何を学ぶべきか。シプラーさんとともに考える。(NO.2411)

シプラーさんの著作

「ワーキング・プア アメリカの下層社会」/2007年岩波書店刊
(森岡孝二/川人博/肥田美佐子 訳)

スタジオゲスト : デイビット K.シプラーさん(ジャーナリスト)

連番68

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
それは9.11から始まった ブッシュ政権 ” 対テロ戦争 ” の内幕 ~ 前・後編	NHK	NHK	20060917	NHKBS1	DVD	自由

「それは9.11から始まった ~ ブッシュ政権 ” 対テロ戦争 ” の内幕 ~ 前・後編」
原題:The Dark Side 制作 : アメリカ WGBH/2006年(9月放送)

アメリカ・ボストンの公共放送局・WGBHが制作したブッシュ政権の外交・軍事政策の検証番組。9・11同時多発テロ以降、アメリカが行ったアフガン空爆、イラク戦争突入へのプロセスが、ブッシュ政権の作為に満ちていたことを浮かび上がらせる。9・11テロで軍と中央情報局(CIA)が対立、両者の主導権争いの中で幾つかの重要な文書が作成された。その中でアフガン空爆とイラク戦争を正当化するためのデータが示されたが、そのデータがいずれも根拠のないものだったことが関係者の証言で明らかになる。さらに、一連のプロセスの責任はテネットCIA長官(当時)1人が負う形となり、結果的にブッシュ大統領は再選を果たした。番組は今も不明朗な形でアメリカの軍事外交政策が決められていることを示唆し、現状をあらためて問い直す。06年制作。

連番67

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
ワーキングプア 努力すれば抜け出せますか	NHK	NHK	20061210	NHK総合	DVD	自由

ワーキングプア 努力すれば抜け出せますか

2006年12月10日（日） 午後9時15分～10時29分 総合テレビ

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/061210.html>

NHKスペシャル『働いても働いても豊かになれない...』。

今年7月に放送したNHKスペシャル「ワーキングプア」は、生活保護水準以下の暮らししかできない“働く貧困層”の厳しい現実を見つめ大きな反響を呼んだ。NHKに届いたメールやファックスをもとに、今回、ワーキングプアのさらなる実態を取材。「第2弾」として放送する。

この10年の雇用環境激変の影響を、最も大きく受けた女性たち。その窮状を訴える声が数多く寄せられた。雇用が回復した今も「正社員」は依然として狭き門で、複数の派遣やパートの仕事を掛け持ちしても、生活ギリギリの給料しか得られない女性が急増している。

一方、中小零細企業の経営者からは、『景気回復など実感できない』という声が相次いだ。海外との激しい価格競争の渦に巻き込まれ、廃業に追い込まれる企業が続出。地域全体が地盤沈下するところも出ている。再チャレンジしようにも、衰退した地域の中では、なかなか新しい仕事を見つけることはできない。

さらに老後への不安も高まっている。医療費などの負担が増え、年金だけでは暮らせず、70歳を過ぎても清掃や廃品回収の仕事を続けるお年寄りも数多い。

なぜ真面目にコツコツ生きてきた人たちが報われないのか。どうすればワーキングプアの問題を解決することができるのか。一人一人が抱える現実を直視し、社会のあるべき姿を探っていく。

連番66

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
アマゾン 大豆が先住民を追いつめる	NHK	Fr	20070115	NHKBS1	DVD	自由
ニジェール 飢餓の構図	NHK	Fr	20070117	NHKBS1	DVD	自由

アマゾン 大豆が先住民を追いつめる 1月15日 月曜日 後10:10~11:00

<http://www.nhk.or.jp/wdoc/backnumber/detail/070115.html>

アメリカで世界第2位の大豆生産国に転じているブラジル。大豆畑に変わろうとしているのが熱帯雨林のアマゾンだ。資本主義の論理の中で、アマゾンに暮らす先住民は土地を追われ、さらに、熱帯雨林が大豆畑になることで周辺地域の降水量が激減するために環境にも異変が起きることを番組は指摘する。

国際的に増大する一方の大豆需要に応える形でアマゾンの熱帯雨林が今、大豆畑に変わろうとしている。今回、フランスが制作したこの番組は、アマゾンの熱帯雨林で繰り広げられている地元先住民と大豆農家との対立の現場をとらえ、熱帯雨林が大豆畑に変わることで温暖化にどのような影響があるかを掘り下げている。

アマゾン北部のマット・グロッソ州で、違法な伐採を行おうとする大豆農家と先住民との間に殺傷事件まで発生している対立の構図。その背景にあるのは、米・穀物メジャーのカーギル社がアマゾン川の港に大豆用の巨大倉庫を設置、大豆輸出に乗り出していること。貧しさのあまり、土地を大豆農家に売り渡すことで、先住民の生活がさらに困窮している現状を描く。さらに、複数の気象学者が熱帯雨林が大豆畑に変わることを影響について警告する。森林が失われることにより、南米全体の降水量が減り、砂漠化が進むという。先進国の大豆需要に応えようとする結果、ブラジル国内での貧富の差が進み、環境にも大きな影響をあたえていることが改めて浮かび上がる。

原題： Amasoya

制作： Free Studio (フランス) 2005年

担当者メモ

フランス制作のこの作品の魅力は、5分付近「先住民が抗議のために釣り客を拘束した」というコメントと10分付近アマゾン沿岸にそびえ立つカーギル社の巨大倉庫に尽きます。また、熱帯雨林が大豆畑に変わることでどのくらい地球規模の環境に影響を与えてしまうのかを訴えています。

ニジェール 飢餓の構図 1月17日 水曜日 後9:10~10:00

<http://www.nhk.or.jp/wdoc/backnumber/detail/070117.html>

2005年、世界最貧国と位置づけられた西アフリカのニジェールで大規模な飢餓が発生。その最中、フランスのプロダクションが「なぜ飢餓は起きるのか」、なぜ国際支援が機能しないのかにせまるべく、ニジェールをルポした。

西アフリカのサヘル地域に位置するニジェールでは2005年、干ばつとバッタの大量発生などで大規模な飢餓が発生し、国連は120万人が餓えに苦しんでいると緊急援助を世界に呼びかけた。しかし、揺れ動く中東情勢や各地から報道される内戦のニュースの影に隠れ、国際的にはあまり注目されなかった。

2005年の飢餓のさなか、フランスの取材班がニジェールに入り、NGO「国境なき医師団」の活動を追いながら、飢餓の実態を取材すると同時に、政府関係者、ニジェールに入り込んでいる各国NGOなどへの取材を通じて、なぜ飢餓が繰り返し起きるのか、その構図に迫ろうとした。ニジェールでは、1日に450人の子どもが死んでいくという統計もあり、戦火にさらされている国の死亡率よりもはるかに高いと専門家は指摘。飢餓と貧困という悪循環の構造にメスを入れることが国際社会として緊急に求められていると訴えた。

番組では、国際機関がニジェール政府に求めている様々な要求がうまく機能していないと指摘する。人々は「グローバリズムは、私たちに夢を与えるどころか、最低限の生活をも奪おうとしている」と語る。なおニジェールは、2005年UNDPにより、世界最貧国と位置づけられた。

原題： Niger : Analysis of a Food Crisis

制作： Point du Jour (フランス) 2006年

担当者メモ

フランス・ポワントジュールは「Nスペ・アフリカゼロ年シリーズ」を購入するとともにフランスオリジナルの続編を制作したのが本作。ニジェールに食料は届いているものの、問題は流通と地域格差だというきめの細かい取材。フランスは旧植民地国を集め「フランス語圏会議」を開いており、独自のネットワークを持っています。そのネットワークが生きた1本です。

アマゾン 大豆が先住民を追いつめる

ドキュメンタリーとかテレビ / 2007-03-16 01:24:41

<http://blog.goo.ne.jp/so-jaded/e/64e93da0022d37527171f0428495d55c>

BS世界のドキュメンタリー「アマゾン 大豆が先住民を追いつめる」鑑賞。制作はフランス。ヴェルナー・ヘルツォークのドキュメンタリー短編でアマゾンにいる最後まで社会から隔離されてる原住民が登場した。彼らに鉄を渡して生活は一変するが鉄に対しての耐性がなかったために半数が死んでいく。そして生き残った人たちはどんな感じが追うと白人とセックスしたぜとかそんな話をしてる。人間てのは環境が違うだけで本質はどんな民族だろうと変わらない。とまあそんな話を思い出した。

ブラジルのアマゾンでは森林伐採が社会問題だ。伐採して土地を開墾し大豆農業を始める。大豆はアジア原産で健康にもよく、EUでは狂牛病から牛骨粉を止めて大豆を使用。かつて大豆輸出国だった中国では砂漠化が深刻化してきて水不足のために輸入国へ変わった。そこでブラジルはアメリカに次ぐ大豆輸出国へと生まれ変わったのだ。

多くの南米国と同じく土地をもたない小作人を抱えていたブラジルは無償で彼らに分け与えた。そこで農業格差が起きていく。よそからきた大金を持つ農場主は大規模な設備投資をして農薬をばら撒く。ここで農薬を使えない貧しい農場は虫に荒らされてしまう。そこで大規模農場主は彼らの土地を安く買い叩き、彼らは町で仕事もないので一日中酒やギャンブルという状態。アメリカの大企業も港にドーンと構えて後は国道などインフラが必要なんだ。その土地に先住民が暮らしてるためにお互いが緊張してる。しかも富裕層は町にとけこもうとはしないので分断状態。

アマゾンには世界の真水の5分の1がある。森林が伐採されることで土地に溜まるはずの水は川に流れてしまう。すると大気中の水分が減って降水が減る。そのために森林火災が多くなり余計に乾燥していきらしい。そこで政府は衛星で違法な伐採を監視。先住民は森を守るためにその監視員になりたいと言う。彼らは保護で優遇されてるので実際は日本車なんかを持ってるらしい。そのために周囲の貧しいブラジル人の反感もあるのだろう。武器を持って一触即発になることもあるのだとか。森林保護を訴えれば大統領自体が貧困層出身のこの国では貧しい農民を無視するのとなる。富裕層と貧困層に原住民の関係、アジアから入ってきた大豆を中国へ輸出しアメリカ資本の参入というグローバリズム、その結果として起こる森林破壊。

「ニジェール 飢餓の構図」視聴後記 2007-01-17 01:11:10 / Weblog
<http://blog.goo.ne.jp/coccolith/e/ef77b84f41eebc91d6ebf0df0abecc4f>

2005年にニジェールは干ばつとバッタの大量発生などで飢餓に見舞われました。地球ドラマチックという番組で、その前年にモーリタニアで起こったバッタ大発生の恐るべき状況を見ていたので、今回の番組でもバッタ被害が取り上げられると予想していたのがまったくの外れでした。番組は飢餓を人災として取り上げ、国境なき医師団（MSF）の子供たちへの緊急栄養治療活動を柱に、ニジェール政府・国際機関・援助団体の動きや、ニジェールの政治・経済・社会状況を描きながら展開されました。

番組には若者のヴォーカル・グループによる下記のような歌声が流れました。

石油やウランではすぐ来るが、飢饉では来てくれない
人類の恥だ、子供が死んで行くのを黙って見ている
村には骨と皮だけの子供たち、何故こんなことに
もう耐えられない、世界に合図を送るんだ
飢饉で子供達が死んでいる、政府がどんなに隠してもひどい有様だ
僕たちはまだこうして生きているけれど
人々が飢饉で死んで行くのを見てもらえない
誰が救ってくれるんだ？誰が窮状から救ってくれる？
子供達が死んで行く、この現状を変えてくれ

MSFの集中栄養治療センターには、体重が正常児の半分に満たない子供達が大勢連れて来られ、子供の死亡率が戦争や人権侵害が起きている国より2~4倍も高いという悲惨な状況にありました。国連食糧計画からの緊急支援要請があつたにもかかわらず、飢餓が常態化しているニジェールに対する国際社会の反応はにぶいものでした。2005年の国連人間開発計画の資料で、ニジェールの人間開発指数は177カ国中最下位でした。就学率はアフリカ最低で、人口増加率は年3%、2050年までに4倍増の見込みです。

かつてニジェールは国外からの援助を受けられない悪い独裁国家見本でしたが、現政権は民主主義の定着・発展の努力中でアフリカの民主国家の手本になっています。残念なことに、国会の議席は字の読めない裕福な商人たちで占められていました。

国際通貨基金（IMF）と世界銀行は、融資の条件に歳出削減、農業助成金と市場介入禁止、国有機関の民営化などを含む構造調整プログラムの実施を要求しました。このプログラムは歳入の充分ある先進ならまだしも、貧しい国にはそぐわず、却って貧困を助長させてしまうものでした。以前見た「ザンビアの食料援助の内幕」という番組でも、このプログラムの失敗が描かれていました。

国家予算の1/3以上を開発援助が占めており、それを元手にした開発プロジェクトの職員は公務員の10倍も高収入で、優秀な人材は公務員にならず、公務員は汚職に手を染める悪循環で、国家そのものの衰退を招いてしまったのです。国民全体の収入を挙げ、国を反映させる手助けが必要ですが、援助を価値あるものにするためには、問題に取り組む新しい手段や適切な資金の割り当て等が求められています。若者を雇用する生産部門やインフラ整備に投資するには、国外からの援助資金が必要ですが、先進国が約束した援助約束が半分も履行されていないのが実状でした。

連番65

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
イラン 大統領になりたかった男	NHK	同左	20070123	NHKBS1	DVD	自由
潜入 新薬開発の舞台裏	BBC	同左	20070205	NHKBS1	DVD	自由

イラン 大統領になりたかった男 1月23日 火曜日 後9:10~10:00

<http://www.nhk.or.jp/wdoc/backnumber/detail/070123.html>

自分と同じ境遇の庶民の願いを政界に届けるため、イランの大統領になることを夢見て、国政選挙への出馬を続けているある泡沫候補の選挙活動を、暖かいまなざしで追ったドキュメンタリー映画。

東アゼルバイジャン州の片田舎に暮らすミール・カンバルは今や75歳。内務省に勤務したこともあるミール老人は、長年、大統領選挙と国会議員の選挙には必ず立候補を続けてきた。「アラーの助けありて、勝利は近し」というコーランの一節を染め抜いた赤い革命旗をおんぼろ自転車の脇に立て、年季が入った拡声器を片手に近所の農村を回れるだけ回るとというのが、昔から変わらない彼の選挙活動だ。支援者として手伝ってくれるのは、手足が不自由なため、いつも口バの引く馬車に乗っているセイフォッラーただひとりだけ。ミール老人が大統領になった暁には、保健大臣のポストを約束されている。

気ままな自転車遊説の道すがら、二人は、ときたま出会う村人や羊飼いを相手に政策論議をもちかけ、貧困層の声を国政に届ける事を約束して、投票を依頼する。家族や友人たちは、選挙活動には口出しせず、あきらめ交じりに距離を置いて見守っている。開票の日、当選には遙か及ばなかったものの、ミール老人は得票数が前回より増えたと喜ぶ。

番組は、砂塵の舞うイラン北部の農村地帯の美しい風景と、ミール老人のユーモアとペーソスにあふれた活動を淡々と追う。そこには、イランが抱える社会問題の断片が見え隠れすると同時に、イランの民主化がどこまで実現しているのかを考えさせられる。

上海テレビ祭 2006 ドキュメンタリー部門 最優秀社会番組賞 受賞作品

原題：President Mir Qanbar

制作：Royabeen Media (イラン) 2005年

【シリーズ 目覚める大国インド】 潜入 新薬開発の舞台裏（イギリス BBC制作）
<http://www.nhk-jn.co.jp/002bangumi/topics/2007/006/006.htm>

2007年2月5日（月）21:10～21:59 BS1 <2ヶ国語放送>

インドでは今、欧米の製薬会社の新薬開発のために、臨床試験を請け負うビジネスが急成長中だ。新薬の効果を確認するためには、被験者が他の薬剤の投与を受けていないことが条件となる。医療制度が十分とは言えず、薬を買う金のない貧困層が多いインドでは、被験者を集めるのが容易なのだ。

医学研究のための人体実験を行う際は、副作用など実験のリスクを被験者に十分理解させた上で承諾を得る、インフォームド・コンセントが絶対に必要とされる。しかし、インドでは貧困や教育レベルの低さから多くの被験者が字を読めず、無料で治療を受けられるのだと誤解したまま、臨床試験に参加している。それをいいことに、欧米の製薬会社は、先進国では許可が下りないような臨床試験を、インドに「外注」している。

調査を進めるうちに、被験者の多くが、臨床試験であることを知らされず、治療だと信じていたことが明らかになる。中には、手術が必要だったのに臨床試験に回され、寝たきりになってしまった、がん患者もいる。また、重い精神疾患に対して、既に効果が出ていた薬物治療を長期間中止させて、新薬を投与していたケースもある。

インド医薬品管理局の担当者も、インドでの臨床試験においては、インフォームド・コンセントの手続きが適正に行われていない場合が多いことを認める。インドの臨床試験請負会社の代表は、「未来の患者の利益を考えることが必要」と開き直る。アメリカの大手製薬会社の幹部は、「問題がある場合はすぐに試験を中止させる」としながらも、「インドで有益な臨床研究を進めていきたい」との方針を語る。

番組は、先進国の医薬品開発のために、途上国の人々が危険な人体実験にさらされることの人道性を問いかけている。

連番64

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
国会中継20070213衆議院予算委員会 亀井静香 - 安倍晋三	NHK	同左	20070213	NHKBS1	DVD	自由

国会中継20070213衆議院予算委員会
亀井静香 vs 安倍晋三

権力の頂点にいる私、、、

連番63

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
BSドキュメンタリー パレスチナの村を分断壁から 守れ	NHK	同左	20070315	NHKBS1	DVD	自由
BSドキュメンタリー 沈黙を破って～イスラエル元 兵士たちの証言～	NHK	同左	20070310	NHKBS1	DVD	自由

200703152110..2200NHKB S 1 (5 0 分)

BSドキュメンタリー 「パレスチナの村を分断壁から守れ」

< イスラムの新しい風 >

パレスチナの村を分断壁から守れ ～共に闘うイスラエルの人々～

<http://www.nhk.or.jp/wdoc/backnumber/detail/070315.html>

イスラエルがヨルダン川西岸地区で進める、入植地とパレスチナ人居住区を隔てる分断壁の建設。パレスチナの小さな村・ビリンにも、イスラエル軍兵士が壁を作るためにやってきた。生活の糧のオリーブの木を守るため、また不当に多くの領土を奪い取られないようするため、村人たちが非暴力の抵抗運動を繰り広げる。

畑に障害物を並べたり、座り込みを行ったり、やがてイスラエルの反戦活動家の青年たちが村人たちに合流し、大音響による攻撃や鳥の糞をつめた風船爆弾といった、あの手こん。手のアイデア戦法で兵士たちを撃退する。頭にきた兵士が、村人を殴ったり、危険な武器を使うと、すかさずビデオに収録し、不法行為ぶりを世の中に訴えるための証拠にした。

当初2、3ヶ月で力尽きると思われたビリン村の抵抗運動だが、パレスチナとイスラエルの双方の地で平和運動の象徴と取りざたされるようになり、ユニークな組み合わせの反戦運動は規模を増していった。ついには国際メディアからも注目され、村には欧米の反戦NGOまで視察に訪れるようになった。

1年後、分断壁の建設予定地には有刺鉄線が張られているが、イスラエル側の計画通りだとビリン村の土地の半分が相手に奪われてしまうことになる。しかし、人口わずか1700人のビリン村に対し、隣接する入植地ではすでに境界線を越えて高層アパートの建設が始まり、すでに3万人が暮らし、近く15万人が入植する予定だ。双方の弁護士によるテレビ討論が行われ議論が白熱する中、2006年2月、エルサレム高等裁判所の調停で、和解の道が探られることになった。

原題： Bilin' My Love

制作： Claudius Films (イスラエル) 2006年

200703102210..2300NHKB S 1 (5 0 分)

B S ドキュメンタリー「沈黙を破って～イスラエル元兵士たちの証言～」

1967年の第3次中東戦争以来、占領政策を続けるイスラエル。占領地で軍が行っている非人道的な行為に疑問を感じたイスラエルの若者たちが告発の声を上げ始めている。

始まりは、2年前、エルサレムで開かれた写真展だった。イスラエルでは、国民皆兵制度によって18歳になると3年間の兵役が課されるが、兵役で占領地に駐留した若者たちが“Breaking the Silence (沈黙を破って)”というグループを結成。占領地で自ら撮った写真にメッセージを添えて展示した。「装甲車によじ登ってきた子どもを我々のスナイパーが射殺した。確認すれば12歳の子どもだったと分かったはずなのに。」、「普通のパレスチナ人家族を力づくで立ち退かせてしまった。彼らは決してテロリストではないしそれにつながってもいないのに。」

グループでは、若い兵士たちに参加を呼びかけ、証言を集める作業を続けている。そして、写真展だけでなく、証言をまとめたビデオを作成して配布したり、高校に出かけて講演するなど、様々な形で国民への問いかけを続けている。しかし、彼らの活動に対する反発の声も強い。

これまでタブーとされてきた占領地での軍の“実態”を告発しそのあり方を問い直そうとする若者たち。“沈黙”を破った若者たちの活動を追い、イスラエルの占領政策のゆくえをさぐる。

松元保昭20070310

みなさまへ、今夜NHK-B Sを是非！（重複失礼）暮れから正月にかけて行ったパレスチナで出会い、ともに歩き、お世話になった大月さんという若いフリージャーナリストが手がけた作品です。2回にわたって放映されます。乞うご鑑賞。

松元保昭20070315

先日お知らせしたNHK-B Sの「イスラエル・沈黙を破った兵士たち」は、若いイスラエル兵の声から、これまでにない踏み込み方で占領の異常な実態を伝えていきます。エルサレムの私の友人が深く関わっています。秀作です。是非。松元再放送があるので、その日程を書いております。

18日（日）午前10:10～11:00（NHK BS1）

連番62

タイトル 著作権 製作 入手 入手先 在庫 配布条件
2006年夏 戦場からの報告 NHK JVIA 20061230 NHKBS1 DVD 自由

20061230NHKBS1 (1時間28分32秒)

<http://www.nhk.or.jp/etv21c/backnum/index.html>

写真左：イスラエル軍の空爆によって廃墟となった街で「ヒズボラ」のポスターを手に叫ぶ婦人

写真右：イスラエル軍のクラスター爆弾で負傷した少女(12才)

今年7月に勃発したレバノン紛争。多くの民間人が犠牲となったレバノン南部の戦場でビデオカメラを回し続けた人々がいる。日本ビジュアル・ジャーナリスト協会(JVIA)のメンバーたちだ。

綿井健陽さんは「狙撃手が空から人々を銃殺するような」空爆の惨状をカメラでとらえている。古居みずえさんは、空爆されたカナの村を女性の視点で記録した。大量のクラスター爆弾に傷ついた子どもたちや遺棄された多くの地雷。停戦後も深い傷跡が残されていた。

一方、イスラエルでは、当初戦争を圧倒的に支持した国民が、戦術的失敗に批判を強め、政府への支持は急落している。長年、パレスチナ・ガザ地区取材してきた土井敏邦さんはイスラエル国民の意識を追った。

なぜ大規模な空爆が行われたのか。そして、中東は今後どうなるのか。2006年世界が最も注目した地域を3人のビデオジャーナリストの記録をもとに見つめる。そして識者の解説も交えながら、中東和平に何が必要なのかを考えていく。

連番61

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
じゃがいもの花 ぐんぐん	鈴木尚	J A	ようてい	20060822	鈴木尚	CD 自由

連番60

タイトル
もう誰にも戦争体験なんてさせない！

著作権
NHK

製作
同左

入手
20060811

入手先
NHK第一

在庫
CD

配布条件
自由

カンベンガ・マリールイズ20060811NHK

もう誰にも戦争体験なんてさせない！ Audio41分52秒7MB

NHKのラジオ放送「ラジオ深夜便」で「終戦インタビュー特集」が組まれた。昨夜、放送された「もう誰にも戦争体験なんてさせない！」の話は衝撃的だった。僅か100日間でなぜ100万人が虐殺されたのか、想像を絶するものがある。その大惨事を奇跡的にも命からがら生き延びたルワンダ人のカンベンガ・マリールイズさん、「戦争は絶対しない。そう腹を決めて下さい。」と訴えかける。鬼気迫るものを感じる。すべての日本人に聞いて頂きたい。

(笠井一朗20060811)



カンベンガ・マリールイズ 紹介

私はルワンダの内戦という辛く悲しい体験の中から命の尊さ、平和の大切さを身をもって学びました。

戦争で心身ともに傷ついたルワンダの子ども達に、教室で学ぶことにより、夢を取り戻して欲しいという願いのもとに、ルワンダのキガリに念願の学校建設を継続中です。学校名はウムチョムウイーザ学園といいます。

現地ルワンダでは、兄チャールズが中心となり「ADESOC」というNGOを発足させ、学校の運営と教室の増設をしております。「ADESOC」と本会はお互いを現地事務所と考え、力を合わせて活動しています。

本会の応援をしていただくことにより、平和な日本にいる皆さんだからこそ出来る社会貢献とは何かを考えるきっかけにさせていただければありがたいです。

これからも、皆様のご理解と協力をお願いします。

プロフィール

1965年：ルワンダに生まれる。

1993年：青年海外協力隊カウンターパートナー（現地協力者）として福島県文化学園にて洋裁の研修を受ける。帰国後すぐに内戦が勃発、必死の逃亡を経て隣国旧ザイールへ。難民キャンプで偶然出会ったアムダの日本人医師の通訳になる。

1994年：研修生時代の友人らの尽力で家族そろって再来日。

1995年：桜の聖母短期大学家政科に聴講生として学ぶ。

2000年：「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、キガリに学校を建設中。

2001年：同会がNPO法人格を取得 同会副理事長に就任

福島県福島市在住、夫と4人の子供の6人家族。自宅で英語やフランス語を教えながら、命の尊さ、教育の大切さを訴える講演活動で全国を駆け回る。

連番59

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
これは正義の戦いか ～ジャーナリストたちの ベトナム戦争～	NHK	同左	20060531	NHK総合	DVD	自由
雑踏の詩～新宿駅西口～	NHK	同左	20060208	NHKBS1	DVD	自由
ポーランドもう一人の私を捜 して(フランスワーズ・モレ シャン)	NHK	同左	20010617	NHKBS1	DVD	自由

200605312200..2245NHK総合(45分)

その時歴史は動いた 第254回

これは正義の戦いか～ジャーナリストたちのベトナム戦争～

http://www.nhk.or.jp/sonotoki/2006_05.html#03

出演者

松平 定知 (まつだいら・さだとも) アナウンサー

石川 文洋 (いしかわ・ぶんよう) さん(報道写真家)

番組概要

その時：1973年3月29日

出来事：アメリカ軍がベトナムから完全撤退する

ベトナム戦争では、当初アメリカのジャーナリストたちは政府が掲げた戦争の大義を信じていた。しかし、戦場でその実態を目の当たりにすると、次第に軍と政府に疑念を抱いていった。CBSニュースキャスターのウォルター・クロンカイトそしてニューヨークタイムズ記者のデイビッド・ハルバースタムやUPI記者のニール・シーハンらは、報道を通してアメリカ政府を追いつめていく。そして政府と報道の対決は、ついに連邦最高裁に持ち込まれた。ジャーナリストたちの葛藤と挑戦を通してベトナム戦争を描く。

200602081625..1650NHKB S 1 (2 5 分)

雑踏の詩 ~ 新宿駅西口 ~

20010617NHKB S 1 (4 5 分)

世界我が心の旅

ポーランドもう一人の私を捜して (フランスワーズ・モレシャン)

連番58

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
BSドキュメンタリー 「チェチェン紛争 市民の証言」	NHK	同左	20060114	NHKBS1	DVD	自由
チェルノブイリ20年目の歌声	NHK	同左	20060430	NHKBS1	DVD	自由

200601142210..2300NHKB S 1 (5 0 分)

BSドキュメンタリー 「チェチェン紛争 市民の証言」

2005年2月、欧州人権裁判所はロシア軍がチェチェンで一般市民の人権を侵害したとして賠償金の支払いを命じた。チェチェンでは、11年もの間、ロシア軍とチェチェンの独立を求める武装勢力の間で泥沼の戦いが続いてきた。武装勢力はチェチェンからのロシア軍の撤退を求め大規模なテロを繰り返してきた。これに対し、ロシア軍はテロを根絶するとしてチェチェンで軍事作戦を行ってきた。こうしたロシア軍の掃討作戦の中でチェチェン市民の人権が侵害され、多くの犠牲者がでていいる。これまでチェチェン内部で起きている一般市民の紛争被害はほとんど伝えられてこなかった。肉親を殺されたり、連れ去られたりした女性たちは、ロシア軍の掃討作戦が一般の市民を巻き込んでいることを世界の人々に訴えようと動きだしている。そうした声がようやく国際社会に届き始めた。

チェチェンで何が起きているのか。被害者の証言や女性たちの活動、そしてロシア当局や軍幹部の証言などをもとに、チェチェンの紛争被害の実像に迫る。

200604301310..1400NHKB S 1 (5 0 分)

チェルノブイリ20年目の歌声

連番57

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
クローズアップ北海道 生活保護	NHK	同左	20060127	NHK総合	DVD	自由
特集ドキュメンタリー 水俣の17年	NHK	同左	20060123	NHK総合	DVD	自由

200601270730...NHK総合(25分)

200601230000...0120NHK総合(80分)
特集ドキュメンタリー 水俣の17年

連番56

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
ワーキングプア～働いても働いても豊かになれない～	NHK	同左	20060723	NHK総合	DVD	自由
どうなる賃金と雇用	NHK	同左	20060530	NHK総合	DVD	自由

ワーキングプア～働いても働いても豊かになれない～

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/060723.html>

2006年7月23日21時から、75分

働いても働いても豊かになれない…。どんなに頑張っても報われない…。

今、日本では、「ワーキングプア」と呼ばれる“働く貧困層”が急激に拡大している。ワーキングプアとは、働いているのに生活保護水準以下の暮らししかできない人たちだ。生活保護水準以下で暮らす家庭は、日本の全世帯のおよそ10分の1。400万世帯とも、それ以上とも言われている。

景気が回復したと言われる今、都会では“住所不定無職”の若者が急増。大学や高校を卒業してもなかなか定職に就けず、日雇いの仕事で命をつないでいる。正社員は狭き門で、今や3人に1人が非正規雇用で働いている。子供を抱える低所得世帯では、食べていくのが精一杯で、子どもの教育や将来に暗い影を落としている。

一方、地域経済全体が落ち込んでいる地方では、収入が少なくて税金を払えない人たちが急増。基幹産業の農業は厳しい価格競争に晒され、離農する人が後を絶たない。集落の存続すら危ぶまれている。高齢者世帯には、医療費や介護保険料の負担増が、さらに追い打ちをかけている。

憲法25条が保障する「人間らしく生きる最低限の権利」。それすら脅かされるワーキングプアの深刻な実態。番組では、都会や地方で生まれているワーキングプアの厳しい現実を見つめ、私たちがこれから目指す社会のあり方を模索する。

20060530NHK総合5月30日(火)放送

シリーズ・デフレは終わったのか(2) 26分

どうなる賃金と雇用

<http://www.nhk.or.jp/gendai/kiroku2006/0605-5.html>

2006年5月30日、26分

シリーズ2回目は物価が低下する中、同様に下落した給料「賃金デフレ」を検証。デフレと言われた時代、年功序列から成果に連動する給与体系に転換する企業が相次ぎ、またパートや派遣など非正規雇用が増えた結果、賃金水準は下落した。しかし今、新卒採用はバブル並、非正規雇用の待遇改善や正社員への転換も目立つ。賃金デフレは止まったのか？実は、現在の正社員の採用増も、団塊世代の大量退職対策や過度な採用抑制の反動の側面が強い。日本全体では非正規雇用の増加傾向がなお強く、中小の製造業では待遇改善もほとんど進んでいない。5年前取材したサラリーマンや企業が今どうなっているか？取材、賃金デフレが進む中、雇用に何が起きたのか、探る。

(NO.2249)

スタジオゲスト：清家 篤さん(慶応義塾大学教授)

連番55

タイトル
チェチェン紛争

著作権 製作 入手 入手先 在庫 配布条件
NHK 同左 20060505 NHK DVD 自由

子ども達の情景

録画時間：1時間40分：20060505放映

200605052210..2400NHKB S 1

B S世界のドキュメンタリー 「チェチェン紛争・子どもたちの情景」

<http://www3.nhk.or.jp/omoban/main0505.html>

午後10・10～11・00、午後11・10～午前0・00

チェチェン紛争がロシアとチェチェン双方の子どもたちに残した深い憎しみと悲しみ。その子どもたちは行き場のない苦悩を抱きながら、日々を暮らしている。番組は、こうした子どもたちがいる場所を3つの「部屋」に見立てて定点観測する。「第一号室」はサンクトペテルブルグ近郊のクロンシュタット海軍幼年学校。「第二号室」はチェチェンの首都グロズヌイの廃墟。「第三号室」はチェチェン国境にほど近いイングーシ共和国の孤児施設。ロシアとチェチェンの子どもたちの現状が、それぞれの「部屋」から見えてくる。カメラは笑うことを忘れた子どもたちの表情を静かに切り取り、紛争という過酷な現実を翻弄されながら生きる子どもたちの姿を伝えている。

[原題] The 3 Rooms of Melancholia

[制作] フィンランド・スウェーデン・デンマーク・ドイツ / 2004年

2005年イタリア賞のほか、国際アムネスティ賞、IDA映画祭グランプリなど、多数の国際賞を受賞。

連番54

タイトル 著作権 製作 入手 入手先 在庫 配布条件
誰も知らない戦地出張 毎日放送 同左 20060703 重工産業 DVD 自由
-もの言えぬ職場から- 労働組合
録画時間：45分：20060416放映

誰も知らない戦地出張 ~もの言えぬ職場から~

<http://mbs.jp/eizou/index2.html>

2006年4月16日 24時45分から

2004年2月から自衛隊は“人道復興支援”のためにイラクに派遣されているが、米軍の物資や米兵の輸送など、事実上の兵站活動も行っている。そして、いくつかの企業では、海外で展開する自衛隊の兵器の修理などの目的で、業務命令による従業員の「戦地出張」も始まっている。しかもその事は社内で絶対的なタブーとなっており話題にすらできないという。着々と築かれつつある「銃後の体制」の現実に迫る。

「映像'06」は1980年4月に「映像80」のタイトルでスタートした関西初のローカル・ドキュメンタリー番組です。月1回、それも深夜の放送という地味な番組ながら、ドキュメンタリーファンの根強い支持を得て今年で26年目を迎えました。この間、番組は国内外のコンクールで高い評価を受け、芸術祭賞を始め、日本民間放送連盟賞、日本ジャーナリスト会議賞、更にはテレビ界のアカデミー賞といわれる国際エミー賞の最優秀賞を受賞するなど、輝かしい成果を上げてきました。また、こうした四半世紀にわたる地道な営為と実績に対して、放送批評懇談会より「ギャラクシー特別賞」も贈られています。これからも「地域に密着したドキュメンタリー」という原点にたえず立ちかえりながら、より高い水準の作品をめざして様々なメッセージを発信し続けてまいります。

連番53

タイトル 著作権 製作 入手 入手先 在庫 配布条件
軍需工場は、今 日本電波ニュース社 同左 20060703 同左 DVD 禁止
録画時間：4 1分

<http://www.ndn-news.co.jp/shop/05.4.5-1.htm>

「軍需工場は、今」

防衛計画大綱で、自衛隊の海外派遣が本来の任務 とされ、M D計画の日米共同研究が進み、武器輸 出全面解禁の衝動を高める日本の軍需産業。

<取材地>

松島、朝霞、入間、東京、横須賀、横浜、小牧、京都、神戸、呉、佐世保、長崎、韓国、ジュネーブ

<取材期間>

8 ヶ月

<企画>

- ・ 造船・重機連絡会
- ・ 三菱重工の不当差別反対連絡会
- ・ 人権回復を求める石川島播磨原告団
- ・ 川崎重工争議団
- ・ 三井造船の人権侵害をやめさせる会
- ・ J F E ・ユニバーサル造船希望の会
- ・ 全日本造船機械労働組合 三菱重工支部
- ・ 全日本金属情報機器労働組合 住友重機支部
- ・ 全日本金属情報機器労働組合 新居浜支部

<制作>

日本電波ニュース社（200502製作）

連番52

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
変貌する日米同盟						
第1回 負担は軽減されるのか	NHK	NHK	20060608	NHK総合	DVD	自由
第2回 加速する一体化	NHK	NHK	20060609	NHK総合	DVD	自由

録画時間：44分
：1時間30分

http://www.nhk.or.jp/special/onair/060608_09.html

ことし5月、日米政府は3年にわたる協議の末、在日米軍再編の最終報告に合意。沖縄海兵隊8000人のグアム移転など「基地負担の軽減」が盛り込まれた一方で、自衛隊と米軍の一体化を推し進める「同盟の抑止力強化」が強く打ち出された。この日米同盟の変貌は、基地の地元、国民一人一人の生活に何をもたらすのか。交渉の過程で政府はどんな針路を選び取ったのか。そしてそれは、本当に我々に平和と安全をもたらす選択なのか。米軍再編（＝日米同盟の再編）を2回シリーズで多角的に検証する。

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/060608.html>

第1回では、米軍再編に揺れる自治体や住民の動きを追う。基地の75%が集中する沖縄。普天間基地の返還や海兵隊の移転などの負担軽減策が示された。しかし、騒音被害は依然深刻で嘉手納基地の周辺ではコミュニティーの崩壊が進んでいる。一方、新たな負担を強いられる自治体もある。山口県岩国市は、米空母の艦載機の移転が決まった。住民投票で87%が受け入れに反対、政府への反発を強めている。基地の負担は本当に軽減されるのか、基地移設に伴う費用を私たちがどれだけ負担するのか。再編に揺れる沖縄や岩国の現実を見つめ、国民の目線から見た再編の課題を描く。

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/060609.html>

第2回では、アメリカの世界戦略の変化の中で進んだ日米協議の舞台裏を徹底取材。当初は異なる思惑で走り出した協議が、「世界のための日米同盟」という方向へ一気に進展してゆく過程を描き出し、そこに秘められた両国政府の思惑を探る。そして国民への十分な説明もないまま米軍と自衛隊の現場で着々と進む「軍事的一体化」の実態を描く。番組後半では、第1回、第2回の内容を踏まえ、「なぜいま日米同盟の強化なのか」「同盟の負担をどう担うべきなのか」「この選択が日本にとって唯一のものなのか」といった疑問を日米当局者や有識者らにぶつけ、討論していく。

連番51

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
私の子どもたちへ ピースサイン 室蘭市民会館	笠木透		20060211	笠木透	CD	禁止
録画時間：						
：						

連番50

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
85年蜂起戦20周年	20周年集会実 行委員会		20060202	荒木	DVD	禁止

録画時間：15分30秒（本編）

：22分（付録）

連番49

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
戦後革命期労働運動	NHK		NHK 20060202	荒木	DVD	N/A

録画時間：38分

1947年2.1 ゼネストへの慕進と挫折（24分）

付2.1後～総評結成、55年春闘開始（14分）

連番47

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
米メディアのイラク戦争報道	NHK		アメリカ	20050125	NHKBS1	DVD 自由
			グローバル・ビジョン			

録画時間：48分57秒

連番48

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
劣化ウランの恐怖	1997 NHK		NHK	20050224	NHK	DVD 自由

録画時間：34分30秒

検証 米メディアのイラク戦争報道（アメリカ グローバル・ビジョン制作）

http://www.nhk-jn.co.jp/002bangumi/bs_worlddocumentary/050125/index.htm

独立系の報道ディレクターで長年、アメリカのメディアの動向を分析し続けてきたダニー・シェクターが、イラク戦争当時のアメリカのメディア状況を検証して総括した番組。

シェクターは、イラク戦争当時から現在に至るアメリカのあらゆるメディアの放送及び記事に目を通し、分析を試みた。イラク戦争を伝える各局の当時の報道をテープよく再構成し、戦争で何が伝えられ、何が伝えられなかったかを浮き彫りにしていく。

ABC、CNN、FOXなどの各放送局をはじめとするメディア関係者たちに、イラク戦争当時の自ら（報道関係者）と米政権との関係について証言を求め、さらに、米政府がメディア操作を行ったその手法も様々な角度から検証する。

その結論は、戦争報道という極めて重大な局面において、メディアは批判精神と客観性を失い、大量破壊兵器がなかったにもかかわらず、イラク戦争をしかけたブッシュ政権の戦争を結果的に正当化することにつながったというものである。

劣化ウランの恐怖 湾岸戦争でアメリカは何をしたか

<http://homepage3.nifty.com/videopress/rekka.html>

91年の湾岸戦争はハイテク兵器の実験場だった。アメリカはここで初めて「劣化ウラン弾」を使った。戦車から4千発、空からは100万発もの劣化ウラン弾がイラクの地に放たれた。

劣化ウランとは、核兵器製造や原発で使用したウランを濃縮したあとの残りカスを使って、低コストでつくれる新たな放射能兵器である。

湾岸戦争後、帰還兵やその子供に奇病が発生しているが、これが劣化ウランの後遺症だった。女性兵士キャロル・ピコーは脳障害・甲状腺異変に襲われ、彼女には甲状腺がない子が生まれた。イラクの子供たちにも同様の、奇形児・先天性欠損症児・白血病・ガンが多発している。ベトナム戦争の枯葉剤ダイオキシンの匹敵するといわれるこの危険な兵器は、湾岸戦争以後、武器マーケットで売上げを伸ばしている。

これまで隠されてきた劣化ウラン問題を、アメリカの市民運動（IAC/国際行動センター）が掘り起こした。このビデオは、そうした運動の中で97年に制されたもので、日々死を待つしかないイラクの子供たちの映像、キャロル・ピコーの証言などを中心に、劣化ウランによる放射能被爆の悲惨さを描きだしている。

（主な出演者）

< キャロル・ピコー >

元陸軍二等曹長。湾岸戦争中は第41野戦病院に勤務。湾岸戦争症候群について、議会の聴聞会で証言。

< ヘレン・カルディコット >

核兵器廃絶運動で有名なオーストラリアの医学者。85年ノーベル賞受賞。

< ラムゼー・クラーク >

元司法長官。弁護士および人権活動家。湾岸戦争に対する国際反対運動を起こし、92年に国際行動センター（IAC）を創立。

< セーラ・フランダース >

国際行動センター（IAC）の副事務局長。湾岸戦争に対する「国際戦争犯罪法廷」をコーディネート。

< ミチオ・カク >

原子物理学者、評論家。ニューヨーク市立大学大学院原子物理学の教授。

連番45

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
東京を爆撃した兵士たち ～アメリカ軍パイロット60年 後の証言～	NHK	NHK	20050319	NHK	DVD	自由

録画時間：49分49秒

連番46

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
東京大空襲 60年目の被災地図	NHK	NHK	20050306	NHK	DVD	自由

録画時間：51分51秒

東京大空襲 60年目の被災地図

<http://www.nhk.or.jp/special/library/05/10003/10306.html>

昭和20年3月10日。十万人の命を奪った東京大空襲。あの日何が起きたのかを改めて記録する作業が始まっている。生き延びた人の描いた絵。犠牲者の行動を再現した地図。60年目にして明らかになった東京大空襲を立体的に検証する。

BSドキュメンタリー

「東京を爆撃した兵士たち～アメリカ軍パイロット60年後の証言～」

<http://www.nhk-jn.co.jp/002bangumi/topics/2005/010/010.htm>

1945年3月10日。一夜のうちに10万人が亡くなった東京大空襲。原爆投下を除けば空前の規模の無差別爆撃であったにもかかわらず、東京大空襲がアメリカ国内で回顧されることはほとんどない。しかし最近、マクナマラ元国防長官が「負けていれば我々は戦争犯罪者だった」と述べるなど、東京大空襲をはじめとした戦略的爆撃を見直す声が挙がっている。特に、空襲を実際に行なったパイロットたちの中には、自らの体験を若者に伝えようとする人も現れている。

アメリカ兵にとって、東京大空襲とはどのようなものだったのか？ どんな思いで空襲に参加し、燃えさかる東京の街を見下ろして何を感じたのか？ そして、戦後60年経った今、自分たちの行なった無差別爆撃をどのように考えているのか。番組では東京大空襲に参加したB29のパイロットたちの証言を軸に、アメリカ兵から見た東京大空襲の真実と、彼らの戦後60年の歳月に迫る。

取材現場から

東京を爆撃した兵士たちの60年後の証言を求めて、アメリカ全土を3週間で駆け回る旅でした。それはけっして楽しいものではありませんでした。

その原因は、彼らの多くがあその空襲を誇りに思っており、少しも悪びれる様子がありませんでした。このことは私を少なからず苛立たせました。彼らの主張は皆同じです。ああしたことをしなければ戦争は終らなかったのだ、と。しかし、本当にそうかどうかはもちろん分かりません。しかも被災した市民のことを想像すれば、そんな簡単に割り切れるものでもないでしょう、というのが取材する側の気持ちでした。そう、そんな簡単に割り切って欲しくなかったのです。想像してください、地上でおこっていたことを、と胸の中でつぶやきながら質問を重ねました。

いくら戦略だからといっても一晩で10万人の市民を殺してしまっているのか。

今、戦争反対、無差別爆撃嫌悪を言いながら、60年前の無差別爆撃だけは正しいと言っているのは大きな矛盾ではないか。

それらの質問の果てに彼らから出てきた言葉とは何だったのでしょうか。番組の中で紹介しますが、それはやはり、80年の人生を生きてきた人の、それぞれの本音が現れていたと思います。

制作統括：藤井勝夫（番組制作部）

ディレクター：伊槻雅裕

連番44

タイトル	著作権	入手先	在庫	配布条件
ベトナム戦争 サイゴン陥落・最期の58日	N H K	NHKBS1	DVD	自由

録画時間：1時間40分

連番43

タイトル	著作権	入手先	在庫	配布条件
日韓条約 知られざる交渉の内幕	N H K	NHKBS1		DVD 自由

録画時間：1時間39分38秒

連番42

タイトル	著作権	入手先	在庫	配布条件
なぜアメリカは戦うのか	NHK	NHK	DVD	自由

録画時間：100分

<http://www3.nhk.or.jp/omoban/main1024.html#20051024008>

ハイビジョン特集 「なぜアメリカは戦うのか」 20:10～22:00(20051231BS1)

2001年9月11日の同時多発テロは、アメリカの軍産複合体にとって新たな戦争の時代への幕開けとなったのではないか。番組は、ニューヨーク在住のベトナム帰還兵が、2003年のイラク戦争で爆撃に使用する爆弾に、同時多発テロで失った息子の名を書き記すよう電子メールで米軍兵士に呼びかけたという体験談を縦軸に、アイゼンハワー大統領の家族の証言や連邦議会の国防族議員の活動などをちりばめて、第2次世界大戦で誕生し冷戦で巨大化した軍産複合体がいまもアメリカの政治・経済に大きな影響力を持つ背景と現状を探る。

[原題] Why We Fight

[制作] アメリカ / 2005年

2005年 サンダンス映画祭 グランプリ (アメリカ・ドキュメンタリー部門)

前編 軍産複合体の影響力

ベトナム帰還兵ウィルトン・セクターは、同時多発テロの日の朝、仕事に向かう途中、息子の勤務先の世界貿易センタービルから煙が上がっているのを目撃した。やがて息子の死が知らされる。1960年退任を前にアイゼンハワー大統領はテレビ演説を行い、「この国には制御が困難な軍産複合体が生まれつつある」と警告した。しかし、この警告にもかかわらず兵器産業は今もアメリカ各地に巨大な工場を持ち地元選出議員にも強い影響力を持つ。カメラは国防予算を審議する連邦議会で露骨な利益誘導の演説を行う議員たちを映し出し、政治と軍産複合体の癒着の問題を提起していく。

後編 国家戦略の被害者たち

同時多発テロで息子を失ったベトナム帰還兵のセクターは、自分の呼びかけに応じた米軍兵士の手で息子の名が記された爆弾がバグダットに投下されたことを知り最初は満足したが、イラクに大量破壊兵器がなかったとブッシュ大統領が認めたことで、次第に自分が欺かれたと感じるようになったという。

冷戦後アメリカが行った数々の戦争は、アメリカの国益を誘導する一握りのエリートたちによって進められ、イラク戦争も、ブッシュ政権に強い影響力を持つ保守系シンクタンクが提唱した中東の安定化だと、開戦の直前までペンタゴンに勤務していた元将校が証言。

天木直人20051219なぜアメリカは戦うのか

<http://amaki.cc/bn/Fx.exe?Parm=ns0040!NSColumnT&Init=CALL&SYSKEY=0166>

昨日(18)日、NHKテレビが「なぜアメリカは戦うのか」という米国製の特集番組を流していた。実によく出来た記録映画だった。アイゼンハワー大統領が1961年の退任演説で述べた、「米国はやがて軍・産複合体の深刻さに向かい合うことになる」という言葉が、メインテーマのように繰り返し流されていたこの番組が訴えようとしたことは、もはや米国と言う国が、米国民の知らないところで、戦争から逃れられない国になっている、それを視聴者に訴えることだ。

戦争はよくないと皆が感じながら、ほとんど何も知らされないままに、あるいはだまされながら、「自由を守るために戦わねばならない」と漠然と信じ込まされている米国民。

政府の誤りや、情報操作の危険性を知って糾弾し続ける米国の良識派には一縷の救いを感じるが、彼らとて、圧倒的な権力と動かない国民の前に沈黙させられる。

莫大な予算をめぐって戦争に群がる米国産業の競争はすさまじいばかりだ。しかしより深刻なのは末端の労働者が弾薬工場などに働いてその日の生活費を稼がざるを得ないという米国経済の実態だ。

アイゼンハワーが軍産複合体のスピーチの中で言っていたごとく「この国には300万人の労働者が軍需産業で生活をしている。今ならどれぐらいの数になるのだろうか。入隊している息子のことを思いながら「爆弾で息子が殺されないか心配だ」と言いつつせつせつと爆弾を作っている女労働者の、なんとやりきれない映像であったことか。母親が病死して独りになった高卒の男の子が、「これで生活が安定する」といって、不安げな様子で入隊を志願する、その希望と不安を抱きかかえた青年の表情が米国の病んだ姿を照射する。

その一方で、「テロの危険がある以上あらゆる手段を使って敵を攻撃するのは当たり前なことだ」と笑顔で話すネオコンたち。かれら一握りの連中の後ろには、おそらくそれを操っている巨大なビジネスと金融資本が存在しているのであろう。もはや米国の大統領そのものが操り人形なのだ。大統領一人では何も出来ないほど米国の軍・産複合体は巨大になってしまったに違いない。

今ブッシュ大統領はイラク戦争の三つの後遺症に攻められている。1.嘘の情報に基づいて起こした戦争2.CIAを使った国際的規模のテロ容疑者の拷問3.テロと戦うための国家的秘密通信傍受、の三つだ。いずれも民主主義の根幹に違反する国際的犯罪行為である。米国以外の国がこの一つでも行っていれば直ちに糾弾されるに違いない。

ブッシュ大統領がまともな神経を持っていれば「もう辞めさせてくれ」と叫びたくもなるだろう。しかし米国の大統領は辞めたくても辞めさせてもらえないのだ。巨大な利権と陰謀の操り人形に過ぎないのだ。

もしそうだとすれば小泉首相如きが米国に楯突くことなど出来っこない。

このように考えると、どうしても、諦めと無力感に襲われてしまう。ここまでの悪が明るみになっていると言うのに何も出来ないのだ。もはや人類は、世界は、行き着くところまで行かないと目が覚めないのか。

唯一つ、希望があるとすれば人間を信じることだろうか。世界の良識ある人間は気づいている。なんとかしなければならぬと思っている。米国の国民こそ、もっともその事に気づいているに違いない。市民の良識の抵抗、米国の軍事用語ではブローバックと言うそうだが、市民の予期せぬ反撃、おそらくこれしかないのだろうか。このブローバックを引き起こす歴史的人物とは果たして誰なのか。いや、それは一人のカリスマ的な人物ではないのかもしれない。目に見えない不特定多数の良心がどこからともなく集まってひとつの大きな流れになることもかもしれない。

連番41

タイトル	著作権	入手先	在庫	配布条件
田中哲朗ライブ	田中哲朗	田中哲朗	CD	禁止

録画時間：75分

連番40

タイトル	著作権	入手先	在庫	配布条件
雑踏の詩～新宿駅西口～	NHK	塩沢かこ		DVD 自由

録画時間：24分39秒

<http://www.tctv.ne.jp/ohmi/diary-0204.html>

2月8日(日) 晴れ

関東ローカルだと思うのですが、日曜日の朝に某国営テレビで「小さな旅」という番組を放映しています。ちょうど一人で朝ご飯を食べる時間なので、のんびりと見ているのですが、今日は「雑踏の詩(うた)--新宿西口」でした。ここで生きる人たちを取り上げています。

笠井和明さん(41)は、小冊子「露宿」の編集長として、5年前から「露宿」を発行しています。「露宿」とはホームレスが詠んだ詩や短歌、俳句が載せられた雑誌。2ヶ月毎に出版され、ホームレスに無料で配られると共に、希望者には1部500円で販売されています。収益は、ホームレスのために行われる炊き出し(新宿中央公園で、毎週日曜日19時からボランティアによって行われる)の費用になるとか。3月号は、来月1日に発行予定。

笠井さんの本職は、ホームレスの自立のための職業訓練を行うNPOの一員。ボランティアで、「露宿」を発行。毎週新宿中央公園で寝起きするホームレスをパトロールしながら、「露宿」の原稿を回収しています。

富士森和行さん(75)は、ほぼ毎回、詩を「露宿」に寄稿し、新宿駅の大ガードで、「露宿」を販売しています。現在は、生活保護を受けて台東区の簡易宿泊所で一人暮らしをしていますが、10年前の1年間新宿で路上暮らしをされたとか。20代から、臨時作業員の仕事をし、住まいや仕事を転々と変えながら生活。64歳の時に、バブル崩壊や作業の機械化で仕事がなくなり、ホームレスになりました。新宿駅から延びる「4号街路、B19」で寝起きし、そこで過ごすようになり、10代の頃好きだった詩を再び詠み始めたそうです。

ほかに「思い出横丁」で焼き鳥屋を営んでいる人、靴磨きで4人の子どもを育てた女性を紹介していました。高層ビルの谷間にこんな生活があるんだな、と思いました。「露宿」を買ってみようと思います。

連番39

タイトル	著作権	入手先	在庫	配布条件
教えられなかった戦争 中国編	高岩仁	上野白湖	上野白湖	禁止

録画時間：1時間38分

連番38

タイトル	著作権	入手先	在庫	配布条件
教えられなかった戦争 マレー半島	高岩仁	富盛保枝	富盛保枝	禁止

録画時間：1時間48分

連番37

タイトル	著作権	入手先	在庫	配布条件
第二の侵略 -開発・投資・派兵- フィリピン	高岩仁	ピエールシャプイ	ピエールシャプイ	禁止

録画時間：1時間28分55秒

連番36

タイトル
テロリストは誰

著作権 入手先
グローバルピース ハーモニクス
キャンペーン プロダクション

在庫 配布条件
DVD 禁止

録画時間：2時間

連番35

タイトル

著作権 製作 入手

入手先

在庫 配布条件

ゆきゆきて神軍

DVD

禁止

録画時間：2時間01分00秒

連番33

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
ザルカウィ： イラク武装勢力リーダーの 実像	NHK	NHK	20050713	NHK	DVD	自由

録画時間：48分49秒

B S世界のドキュメンタリー

「ザルカウィ・イラク武装勢力リーダーの実像」

後10・10～11・00

イラク国内で起こっている数多くのテロ事件の首謀者としてアメリカが行方を追っているザルカウィの人物像に迫る。これは、レバノンのテレビ局が中東の人脈を生かしザルカウィの生涯を取材した素材をもとにフランスのプロダクションが追加取材のうえ完成させたドキュメンタリーである。ヨルダンに生まれ80年代アフガニスタンでソビエトに対してムジャヒディン（戦士）としてジハードを戦ったザルカウィは、サラフィストと呼ばれるイスラム原理主義の一派と接触したことで頭角をあらわし、この一派のネットワークを頼って活動の舞台をイラクに移したという。

番組は、ザルカウィとビンラディンの関係は欧米で言われているほど密接ではないとし、欧米がイスラム世界についてより正確な情報を持つことの重要性を訴えている。

[前説] 柳澤解説委員

[原題] Zargawi : The Making of a Terrible

[制作] フランス / 2005年

連番34

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
僕らは玉砕しなかった 少年少女たちのサイパン戦	NHK		NHK 20050702	NHK	DVD	自由

録画時間：51分50秒

連番31

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
若者が見た戦争と平和	NHK	NHK	20050804	NHK	DVD	自由

録画時間：47分27秒

連番32

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
ひとり団地の一室で	NHK	NHK	20050924	NHK	DVD	自由

録画時間：51分55秒

シリーズ 若者が見た戦争と平和 第2回 イラクを伝えたい

http://www.nhk.or.jp/hot/onair_old/20050804/20050804a.html

スタジオゲスト：江川紹子さん（ジャーナリスト）

「若者がみた戦争と平和」シリーズの2回目は「イラクに行った若者たち」。

イラク戦争開戦前や終結後に、戦争の実態を知りたいと現地を訪れた若者たちがいた。彼らに共通するのは「戦争は正しいのか？授業や本ではわからないからこそ、自分の目で現地で何が起きているのかを確かめたい」という思いだ。

理不尽に思える戦争、戦争被害。それらを前に、一体自分には何が出来るのか、自分なりに考え、現地の若者から平和のメッセージを集めた若者。この戦争をどう思うのか、100人近いイラク人にインタビューしてまわった若者。イラクで拘束され死の恐怖を味わった若者。イラクでの体験は、それぞれが真剣に、戦争と命の意味を探ることとなった。

ジャーナリストの江川紹子さんが3人の若者と対話し、彼らがイラクでみつめた戦争と平和への思いに迫る。

NHKスペシャル 「ひとり団地の一室で」

http://www.nhk.or.jp/omoban/k/0924_4.html

総合・後9・00～9・52

千葉県松戸市にある常盤平団地。3年前、その一室で死後3か月経った男性の遺体が見つかった。男性は当時50歳。病気で職を失ったあと家族と別居し、一人で暮らしていた。

いま、全国各地の団地では、誰にも看取られずに亡くなる、いわゆる“孤独死”が相次いでいる。常盤平団地でもこの3年間で21人が孤独死した。その半数が40代、50代そして60代前半までの比較的若い世代の男性だった。社会や家族とのつながりを失った人たちが、老後を迎える前に、亡くなっているのだ。

総世帯数5,300戸を抱える常盤平団地は、昭和35年、全国のニュータウンの先駆けとして誕生した。ダイニングキッチンや洋式トイレなど、最新の設備を備えた団地は、当時“夢の住まい”として入居希望者が殺到した。

しかし団地は変貌してしまった。高齢化が進み、住民は年々減少。単身での入居も認められるようになり、独り身の男性などが、数多く移り住むようになった。

長年支え合ってきた古くからの住民は、地域の絆を取り戻し、“孤独死”を予防するために動き始めた。

番組では、団地に去年できた「孤独死予防センター」にカメラを据えて“孤独死”の実情を追い、団地に凝縮された日本の現実を見つめる。

連番30

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
日本が占領した海南島で			200508	上野白湖	CD	禁止

録画時間：1時間5分18秒

連番29

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
ファルージャ2004年4月	土井敏郎	同左	200508	上野白湖	CD	禁止

録画時間：55分04秒

連番26

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
イスラム過激派の誕生	NHK	NHK	20050605	NHKBS1	DVD	自由

録画時間：50分00秒

連番27

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
ビン・ラディンの実力	NHK	NHK	20050605	NHKBS1	DVD	自由

録画時間：50分00秒

連番28

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
作られた恐怖	NHK	NHK	20050606	NHKBS1	DVD	自由

録画時間：50分00秒

B S世界のドキュメンタリー 「テロとの戦い」の真相

対テロ戦争で激突する米国のネオコンと中東のイスラム過激派。2つの政治集団は同じ1950年代に誕生し、人々の心に恐怖を植え付けて権力を握るという戦略も共通している。両者の歴史をたどることで現在の国際政治の核心に迫ろうとするイギリスBBCの3回シリーズ。ゴルバチョフ元ソ連大統領やネオコンのリーダーの一人リチャード・パール、さらにビン・ラディンをよく知るイスラム武装勢力のリーダーの証言をもとに、現在の「対テロ戦争」は2つのグループが生み出した「恐怖の幻想」の産物ではないかと問いかける。

The Power of Nightmares (原題) 制作：イギリス / 2004年

第1回 イスラム過激派の誕生 6月5日(日)後10:10~10:59

イスラム過激派の元祖はエジプト出身のクトゥブである。彼は50年代のアメリカに留学中、退廃した社会を見たクトゥブは腐敗を世界に垂れ流すアメリカを敵視する思想を持つに至る。クトゥブはナセル政権の親米路線に反発。反体制青年団を組織し、66年に処刑された。そのクトゥブの思想を引き継いだ人物こそはビン・ラディンの側近ザワヒリであった。同じ50年代アメリカにネオコンの源流を築いた人物はレオ・シュトラウス。彼は米国が自由と民主主義を維持するには人心を統合する「神話」が必要だと考えた。その神話とは、「アメリカこそは世界から悪を追放できるただ一つの国」というもの。その最初のターゲットはソ連だった。

第2回 ビン・ラディンの実力 6月5日(日)後11:10~11:59

79年に始まったソビエトのアフガニスタン介入を、ネオコンとイスラム過激派は共に戦った。そしてソビエトはアフガンから撤退後の90年崩壊する。ネオコンもイスラム過激派も「ソ連崩壊はアフガンの勝利が引き起こした」と実態と異なる宣伝を行いさらに勢力を拡大する。イスラム過激派の内部ではビン・ラディンは資金提供を行うのみで、クトゥブの弟子ザワヒリが主導権を握った。90年代半ば、イスラム過激派はアルジェリア・エジプトでテロを通してイスラム政権の樹立を図るが敗北、新たな敵をアメリカに求めていく。一方、ネオコンはクリントンのスキャンダルを誇張するメディア戦略を展開、政権を奪取する。

最終回 作られた恐怖 6月6日(月)前0:10~0:59(5日深夜)

2001年1月、ケニアとタンザニアでの同時米大使館爆破事件の公判がニューヨークで開かれていた。この法廷で一人のアラブ系証人が「アルカイダ」という言葉を発した。米当局は、テロ組織に「顔」を必要としていたため、この「アルカイダ」という言葉に飛びついた。さらに同時多発テロ以降、FBIが存在しない「アルカイダ」の地下組織を摘発すると称して冤罪事件を繰り返していると、検挙されたアラブ系アメリカ人の弁護士が語る。ディズニーランドでの単なる観光ビデオが「爆破の下見ビデオ」とされ子供の落書きが「トルコ米軍基地爆破の暗号」とされ裁判に提出されているのだという。

連番24

タイトル	著作権	放映	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
終戦60年・ベトナム戦争 争終結30年 特別企画	テレビ	200505			富盛	DVD	自由
検証！ 終わりのない戦争 知られざる被爆者たち	朝日	15					

録画時間：1時間10分07秒

連番25

タイトル	著作権	放映	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
終戦60年企画 沖縄 よみがえる戦場 ～ 読谷村民2500人が 語る地上戦～	NHK	200506			NHK	DVD	自由

録画時間：52分00秒

連番23

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
アルモーメンホテルの子ども達	NHK	NHK	2005051	NHKBS1	DVD	自由

4

録画時間：50分00秒

連番22

タイトル	著作権	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
小森陽一20050423室蘭市 民会館 今、憲法と教育基本法を 輝かせる	小森陽一	澤田	20050502	富盛保枝	DVD	著作権者 の意図に 反しない こと

録画時間：1時間00分20秒

連番20

タイトル	著作権	放映	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
イラク戦争とメディア1/2 テロの脅威がアメリカを 変えた	NHK	200503			NHKBS1	DVD	自由

録画時間：49分42秒

連番21

タイトル	著作権	放映	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
イラク戦争とメディア2/2 アメリカ・問われる報道 姿勢	NHK	200503			NHKBS1	DVD	自由

録画時間：49分49秒

連番19

タイトル	著作権	放映	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
フリーター漂流	NHK	200502		200502	野田	DVD	自由
		05		09	隆三郎		

録画時間：53分0秒

連番18

タイトル	著作権	放映	製作	入手	入手先	在庫	配布条件
シリーズ憲法	NHK	200501			NHK	DVD	自由
		22					

録画時間：1時間14分

連番16

タイトル	著作権	放映	制作	入手	入手先	在庫	配布条件
イラク劣化ウラン弾 被害調査	NHK	200501 04		200501 04	NHK	DVD	自由

録画時間：48分51秒

連番17

タイトル	著作権	撮影	制作	入手	入手先	在庫	配布条件
アメリカ大統領就任式	NHK	200501 21		200501 21	NHK	DVD	自由

録画時間：30分00秒

連番14

タイトル	著作権	撮影	制作	入手	入手先	在庫	配布条件
ギターと歌	鈴木尚	200410		200501	奥野恒久	CD	禁止
		28		11			

録画時間：19分55秒

連番15

タイトル	著作権	撮影	制作	入手	入手先	在庫	配布条件
講演「沖縄と会社に 憲法を」	佐高信	200410		200501	奥野恒久	CD	著作権者の 意図に反し ないこと
		28		11			

録画時間：2時間8分52秒

連番13

タイトル	著作権	撮影	制作	入手	入手先	在庫	配布条件
アフガンを緑の大地に	中村哲	200407			北教組	DVD	自由

23

録画時間：120分（音悪し）

講演会（室蘭市民委員会にて）

連番11・12

タイトル	著作権	撮影	制作	入手	入手先	在庫	配布条件
30年目の戦後処理	NHK		NHK	200412	NHK	DVD	自由
				26			
殺りくの地・9年目の 対話	NHK		NHK	200412	NHK	DVD	自由
				26			

録画時間：45分0秒（2本共）

連番10

タイトル	著作権	撮影	制作	入手	入手先	在庫	配布条件
世界我が心の旅	NHK		N H K	200401	石崎黄太	DVD	自由
イタリア過ぎ去らない				08			
証人							

徐京植

録画時間：44分0秒

連番 9

タイトル	著作権	撮影	制作	入手	入手先	在庫	配布条件
殴る側の大 国となった 日本と新ガ イドライン	渡辺治	199905	高岩仁	200501	上野白湖	DVD	著作権者の意図に 反しないこと

録画時間：2時間1分6秒

4年半前の録音です。資本主義体制の本質とそこでの日本のポジションを分析する、明晰な講義です。平和活動にたずさわる諸氏、お聞きになることを強くお勧めします。(20050107一朗)

連番 7・8

連番	タイトル	時間	著作権	撮影	放映	入手	入手先	在庫	配布条件
7	絵で語る中国 侵略	51m 13s	札幌郷 土を掘 る会			200310	野田隆 24 三郎	DVD	著作権者の 意図に反し ないこと
8	中国の大地は 忘れない	26m 15s	不明		不明	200310	野田隆 24 三郎	DVD	自由

連番 5 ・ 6

連タイトル 番	時間	著作権	撮影	放映	入手	入手先	在庫	配布条件
5 戦犯たちの 告白	45m23s	NHK		1989	2003	野田隆 1024 三郎	DVD	自由
6 撫順管理所	2h33m25s	中国政府		1956.12	2003	野田隆 製作 1024 三郎	DVD	自由

Address: <http://www1.jca.apc.org/aml/200310/36093.html>

Subject: [aml 36093] 撫順の奇蹟について

From: "Ryuzaburo Noda" <nodarr.193@do9.enjoy.ne.jp>

Date: Mon, 13 Oct 2003 12:50:33 +0900

Seq: 36093

10月8日から3日間、岡山大学で「中国侵略と撫順の奇蹟写真展」を開催しました。

その際、1989年ドキュメンタリー大賞を受賞したNHKスペシャル「戦犯たちの告白」と撫順管理所における戦犯たちの生活や裁判の様子を写した中国側制作の貴重な映像を含むビデオを頒布しました。それがいくつか残っていますので希望者にお送りします。とても感動的なビデオです。(後者の映像の画像はあまりよくありませんが)

ご希望の方はメールでお申し込みください。実費としてあとで80円切手5枚を下記へ送ってください。

なお参考までに、私がにわか勉強で書いた撫順の奇蹟に関する説明文を以下に添えます。会場で展示しました。(少し書き換えています)

.....

以下 説明文

撫順戦犯管理所

日本の敗戦後、約60万人の日本軍兵士が、ソ連の捕虜としてシベリアに5年間抑留された。その後、その中の関東軍や満州国関係者等950名が撫順戦犯管理所に6年間収容された。

また戦後、中国に残留し、蒋介石の国民党軍を支援して毛沢東の共産党軍と敵対

した日本軍兵士130名が太原戦犯管理所に収容されていたが、1956年、撫順管理所に合流した。

撫順の奇蹟

中国政府は、これら戦犯に対し、厳罰でのぞむのではなく、あくまでも兵士が自発的に反省し、良心を取り戻すことをひたすら待った。通常、戦争犯罪裁判が勝者による報復裁判であるなかで、中国政府のこの処置はきわめて異例である。

新中国は戦争の責任は兵士にあるのではなく、日本軍国主義にあるとの立場から、戦犯を死刑にすることは敢えてせず、時間をかけてでも彼らに罪を自覚させ、人間の良心を取り戻させる道を選んだ。

中国側の調査によれば撫順の戦犯たちによって殺された中国人は85万人にも達するにも拘わらず、中国がこのような寛大な処置をとったことは驚くべきことである。

はじめは「上官の命令なので仕方なかった」と言い訳していた戦犯たちも、終にはこの中国政府の人道主義に基づく寛大な処遇に心をゆり動かされ、自ら進んで罪を認めるに至ったのであった。

1956年、45人を除き殆どの戦犯が起訴を免除されて帰国、64年までには全員が帰国した。

帰国した元兵士たちは中国帰還者連絡会を結成し、戦争を二度と起こさせない、そのために若い世代に戦争の真実を伝える活動を続けてきたが、既に全員が高齢に達しており、死亡した人も多い。

私たちは歴史上も稀有なこの史実を、埋もれさせてしまうことなく、後世に伝えてゆかなければならないのではないのでしょうか。

.....

以上、説明文

中帰連のサイトから、異常な体験をした元戦犯たちの文章を取り出す

<http://www.ne.jp/asahi/tyuukiren/web-site/>

ことができます。いずれも感動的な文章ですが、特に、沢田二郎さんの「敗戦から帰国まで」は示唆に富む文章だと思います。

野田隆三郎

〒701-1145 岡山市横井上507-79

Tel/Fax 086-294-4020

e-mail nodarr.193@do9.enjoy.ne.jp

連番 4

連番	タイトル	著作権	撮影	放映	入手	入手先	在庫	配布条件
4	講演「沖縄と会社に憲法を」	佐高信	200410	28	200411	憲法学 習会	DVD	実行委員会の意 図に反しないこと

連番 3

タイトル	著作権	撮影	放映	入手	入手先	在庫	配布条件
参議院外交防衛委員会	佐藤道夫	200110	N H K		佐藤道夫	DVD	自由
		24	など				

20030515 参議院議員 佐藤道夫 様

前略 2001年10月24日の「テロ法案」連合審査会の国会質疑での、佐藤道夫さんの質疑内容（特に小泉首相との）をラジオで聞き、大変感銘を受けまして、後日、議員会館にて秘書の方から当日撮影のビデオをいただいたものです。北海道の笠井といいます。

本日、連合与党と野党第一党があらかじめ「審議」を尽くし、「有事法制」が衆議院通過したことをラジオで聞き及びました。私は日本の将来の行く末を懸念します。

どれだけの議員が、この法案の持つ危険性を理解しているのか。彼らは、単に長いものに巻かれる、体制追従、議論を尽くすことを知らない人たちではないのか。結果、日本を全体主義（軍国主義）に導く野望があり、その野望実現の原動力が日本版ネオコンの、実現可能性に乏しい、独善的で情けに欠ける、感情に突き動かされた所産によるものではないかと思えます。この流れでは、災禍を招くのは歴史が教えてくれます。近隣諸国民を蔑み、自国民の全てを日本国の軍隊の指揮下におく。無知な人民を戦場に送り殺戮を奨励し、自らはお為ごかしを尽くすのではないか。ちょうど、ブッシュ政権が行ったように。

民主党は、国家権力の暴走を制御するために安全保障に関わる法律を整備すべきだと考えているようですが、ヒトラーの独裁を許した歴史的事実もありますし、有事における人権の保護をうたう法整備をしなくてはいけないといった意見が出ていること自体、憲法で規定されている基本的人権は有事には通用しませんよといっているようなもので、そうこうするうちに、今の憲法は現状にそぐわないといって改憲するのでしょうか。

戦争は起こしてはならないもの。最大限譲っても正戦論に立つべきです。戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認を求める憲法第9条は、議論をせず調整をし、哲学をせず長いものに巻かれ、民主主義が大事のお念仏を唱える多数決原理主義の政治が運営されている日本にとって、それを保持するのは至難の業ではないのかなあと、本日、改めて感じ入りました。

佐藤道夫さんは民主党所属でいらしゃいますが、「一人一党の立場で」「感情に流されず冷静に」といった活動理念に、私は共感します。何卒、お願いですから、災禍元凶の法案を「理」の参議院で、佐藤道夫さんに一蹴していただきたく、強くお願い申し上げます。（20030515一朗）

連番 2

タイトル	著作権	撮影	放映	入手	入手先	在庫	配布条件
戦場から伝えるもの	NHK		200408		NHK	DVD	禁止

連番 1

タイトル	著作権	撮影	制作	入手	入手先	在庫	配布条件
宜野湾市 民集会	沖縄国際 大学	200409 12		200410 13	野田隆 三郎	DVD	著作権者の意図に 反しないこと

Date : Sun, 3 Oct 2004 20:22:45 +0900

Subject : [uketugu] 宜野湾市民集会のビデオ

8月12日米軍ヘリが墜落した直後とその数日後の墜落現場の映像（約12分）
それと9月12日の宜野湾市民大会の映像（約2時間）を写したビデオを希望者に
実費でお届けします。

沖縄国際大学が撮影したものを同大学が提供して下さったものです。

希望者はメールでお申し込みください。ビデオが届いたら切手450円分（80
円5枚プラス50円1枚）を郵送してください。

これからダビングしてお送りしますので（申し込み具合で）少し時間がかかるか
もしれませんが、できるだけ早くお送りします。

野田隆三郎 e-mail nodarr.193@do9.enjoy.ne.jp

Date : Mon, 4 Oct 2004 07:03:43 +0900

お詫びとお断りです。

前回、投稿しました宜野湾市民大会のビデオ頒布の件ですが投稿にも書きました
とおり、これは沖縄国際大学が撮影したものです。

今回のような形で不特定多数の方に頒布することは撮影した沖縄国際大学の意図
に反する形で使われる恐れがないとは言えません。

それで誠に申し訳ありませんが、今後はそのような恐れがないと判断できる方に
限ってお送りさせていただくことにします。

（多分に恣意的にならざるを得ないと思いますが）

すでにお申し込みいただいた方には私から個別にお返事を差し上げます。

なお、どうしても入手したい方（特に出版関係の方）は沖縄国際大学に直接お申
し込みくださいますようお願いいたします。（OKされるかどうか私にはわかりませ
んが）できるだけ多くの方に見て欲しいという一心でしたことですが、私の軽率さ
のためにご迷惑をおかけしましたことをお詫びします。